

**会津若松市の取組に関する市民意識調査
実施報告書
【 職員 】**

平成27年3月

会津若松市

～ 目 次 ～

I : 調査概要	1
(1) 調査の目的	2
(2) 調査対象	2
(3) 調査期間	2
(5) 調査方法	2
(6) 調査内容	2
(7) 回収状況	2
II : 調査結果 (属性)	3
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 世帯構成	5
(4) 同居の家族 (家族構成でひとり暮らし、未回答以外)	5
(5) 主な職業	6
(6) 通勤・通学先	6
(7) 調査票回答 年齢別・地区別クロス集計	7
III : 調査結果 (設問)	8
◆ 健やかで思いやりのあるまちづくりの取組について	9
◆ 豊かな心と個性を育むまちづくりの取組について伺います	12
◆ 活力あるまちづくりの取組について伺います	166
◆ 自然にやさしく安全で住みやすいまちづくりについて伺います	244
◆ 快適で利便性の高いまちづくりについて伺います。	288
◆ パートナーシップのまちづくりについて伺います。	300
◆ 市政運営について伺います。	333
◆ 市役所の庁舎について伺います。	400
◆ スマートシティ会津若松について伺います。	433
IV : 記述回答一覧	511

I : 調査概要

(1) 調査の目的

この調査は、平成 29 年度を始期とする次期総合計画策定における基礎資料とするため、現行の第 6 次会津若松市長期総合計画に基づく市の施策、取組について、市職員のお考えや意見を聴取するものです。

(2) 調査対象

市職員（主幹、副主幹相当職） 192名

(3) 調査期間

平成 26 年 11 月 4 日（火）から平成 26 年 11 月 28 日（金）まで

(5) 調査方法

庁内での文書配布

(6) 調査内容

- 取組にかかる調査 58 項目（選択式 47 項目＋自由記述式 11 項目）
 - ・ 健やかで思いやりのあるまちづくりについて
 - ・ 豊かな心と個性を育むまちづくりについて
 - ・ 活力あるまちづくりについて
 - ・ 自然にやさしく安全で住みやすいまちづくりについて
 - ・ 快適で利便性の高いまちづくりについて
 - ・ パートナーシップのまちづくりについて
 - ・ 市政運営について
 - ・ 市役所の庁舎について
 - ・ スマートシティ会津若松について
- 基本施策にかかる満足度調査（選択式 28 項目＋優先 3 項目）
- フェイスシート
- 自由意見欄

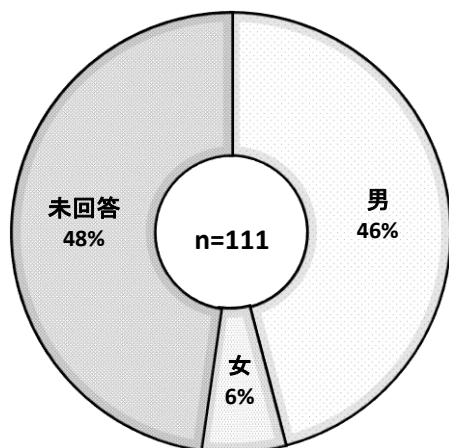
(7) 回収状況

配布数	回収数	回収率
192	111	57.8%

Ⅱ：調査結果（属性）

(1) 性別

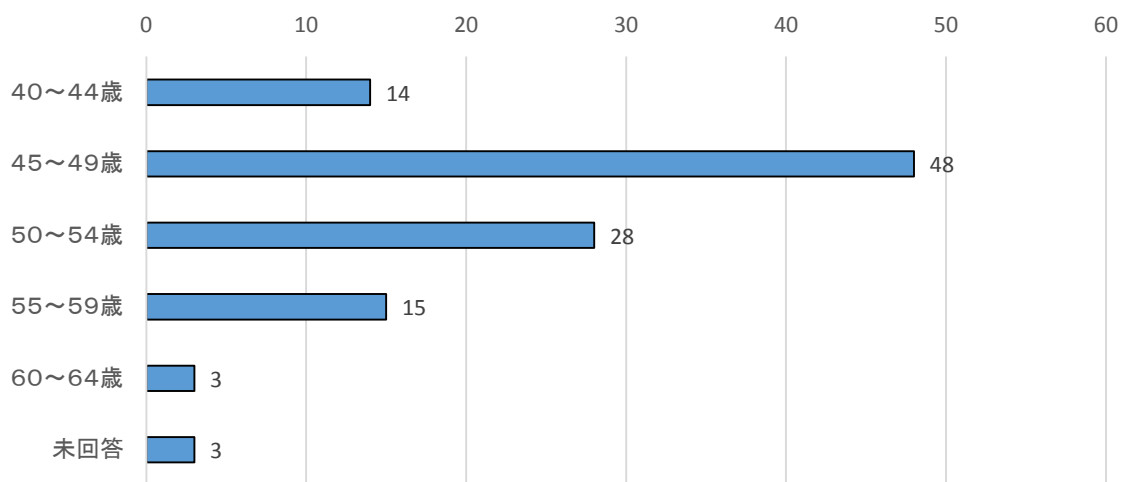
男性が47%、女性が6%ということで男性職員の回答が多い結果となった。



選択肢	回答数	構成比
男性	51	46%
女性	7	6%
未回答	53	48%
合計	111	100%

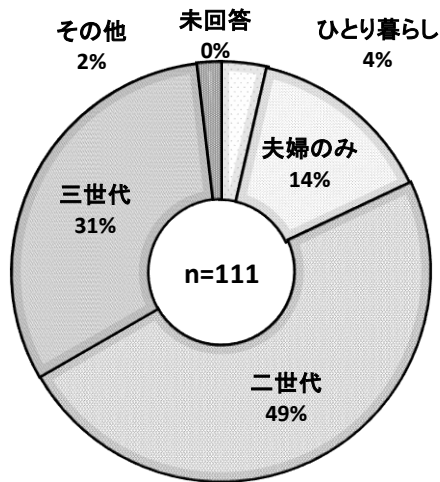
(2) 年齢

回収データは40歳～64歳の範囲のみとなった。



(3) 世帯構成

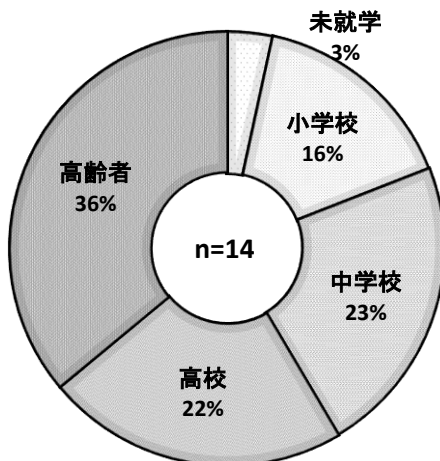
二世代が49%、三世代31%、夫婦のみが14%の順となった。



選択肢	回答数	構成比
ひとり暮らし	4	4%
夫婦のみ	16	14%
二世代	54	49%
三世代	35	31%
その他	2	2%
未回答	0	0%
合計	111	100%

(4) 同居の家族（家族構成でひとり暮らし、未回答以外）

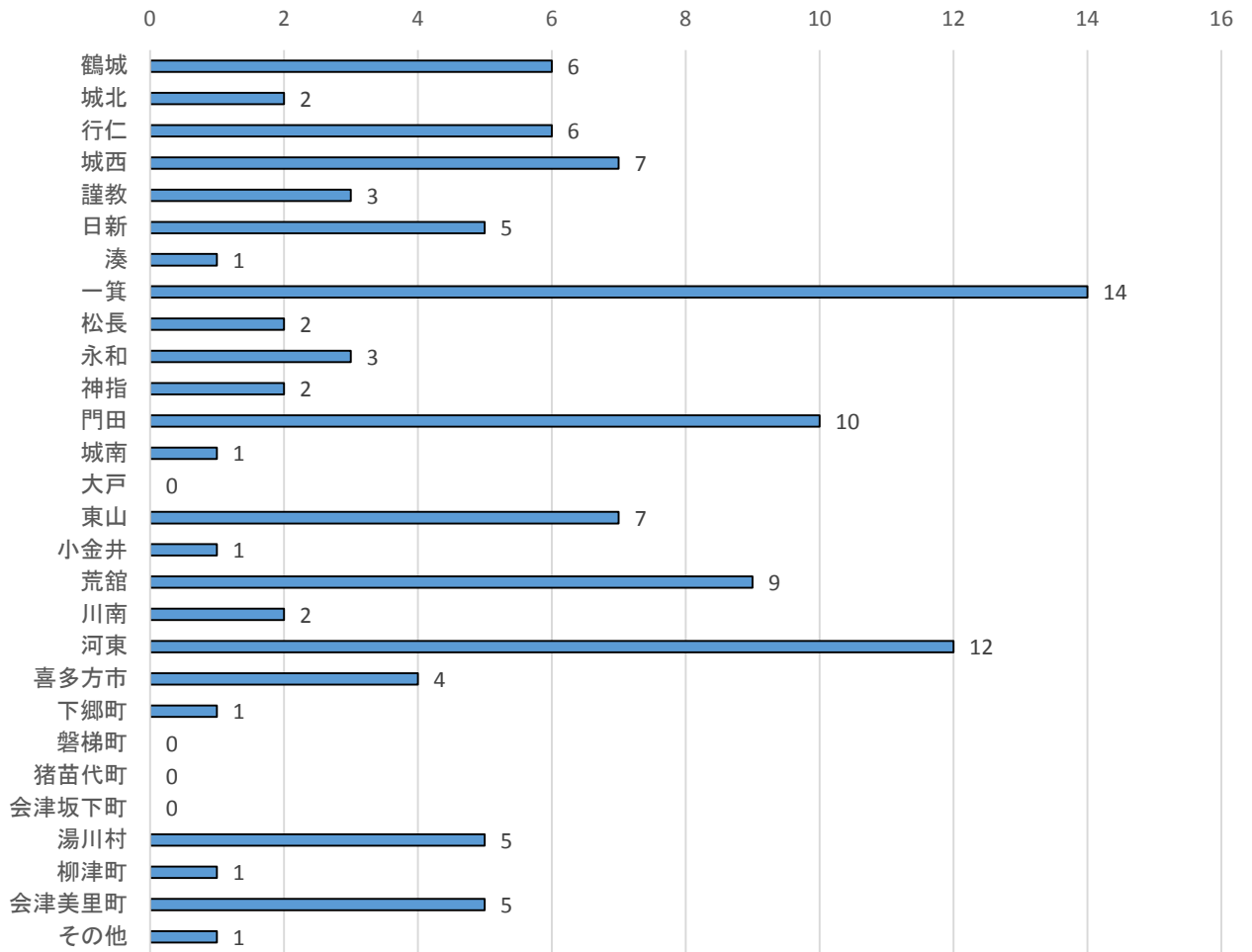
高齢者が36%、中学校、高校の順という結果となった。



選択肢	回答数	構成比
未就学	5	3%
小学校	23	16%
中学校	33	23%
高校	33	22%
高齢者	53	36%
合計	147	100%

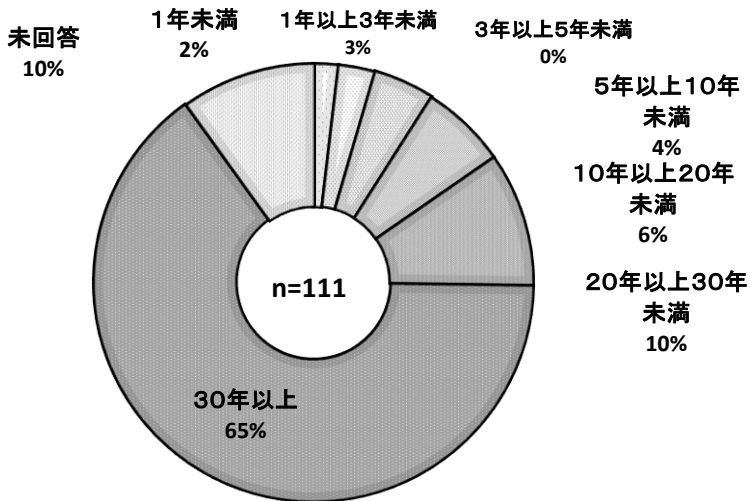
(5) 居住地域 (小学校区)

一般住民回答と同様に一箕地区が一番多い結果となった。



(6) 本市にお住まいの期間 (通算の居住年数)

30年以上が65%と全体の約7割を占める結果となった。



選択肢	回答数	構成比
1年未満	2	2%
1年～3年未満	3	3%
3年～5年未満	0	0%
5年～10年未満	5	4%
10年～20年未満	7	6%
20年～30年未満	11	10%
30年以上	72	65%
未回答	11	10%
合計	111	100%

(9) 調査票回答 年齢別・地区別クロス集計

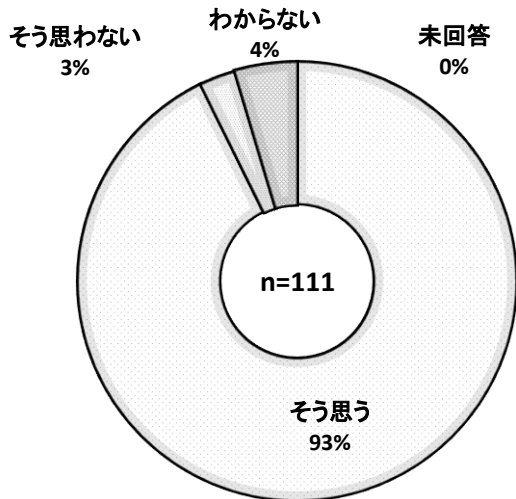
	40 歳代	50 歳代	60 歳代	未回答	合 計
鶴 城	5	1	0	0	6
城 北	0	2	0	0	2
行 仁	6	0	0	0	6
城 西	3	4	0	0	7
謹 教	1	2	0	0	3
日 新	4	0	0	1	5
湊	1	0	0	0	1
一 箕	6	7	1	0	14
松 長	2	0	0	0	2
永 和	2	0	0	1	3
神 指	1	1	0	0	2
門 田	4	5	1	0	10
城 南	1	0	0	0	1
大 戸	0	0	0	0	0
東 山	4	3	0	0	7
小金井	0	1	0	0	1
荒 館	6	2	0	1	9
川 南	0	2	0	0	2
河 東	6	6	0	0	12
喜多方市	3	1	0	0	4
下郷町	1	0	0	0	1
磐梯町	0	0	0	0	0
猪苗代町	0	0	0	0	0
会津坂下町	0	0	0	0	0
湯川村	2	2	1	0	5
柳津町	0	1	0	0	1
会津美里町	2	3	0	0	5
その他	2	0	0	0	1

Ⅲ：調査結果（設問）

◆ 健やかで思いやりのあるまちづくりの取組について

問1 市では、安心して子供を産み育てる環境づくりを進める取組の一つとして、18歳以下の皆さんの医療費助成や夜間、休日など、子どもたちの医療体制の充実に努めています。この取組は安心して子どもを産み育てるために有効だと思いますか？（○は1つ）

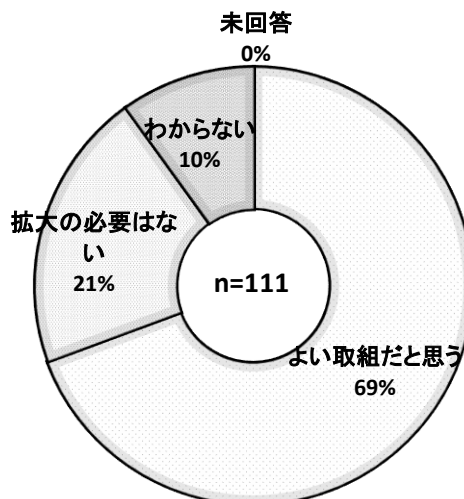
「そう思う」が93%となり、有効と思う方が全体の9割を超える結果となった。



選択肢	回答数	構成比
そう思う	103	93%
そう思わない	3	3%
わからない	5	4%
未回答	20	0%
合計	111	100%

問2 こどもクラブを利用できる年齢については、現在の小学3年生までから、小学6年生までに拡大する予定です。この取組についてどう思いますか？（○は1つ）

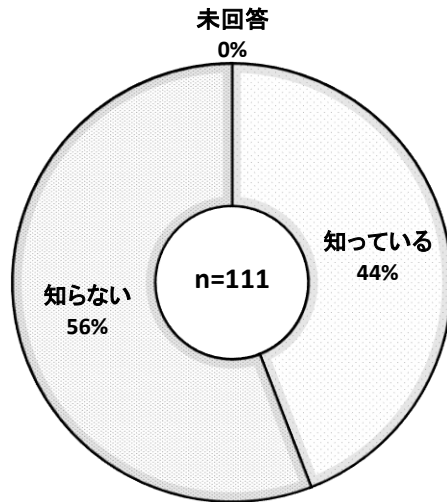
「よい取組みだと思う」が69%となり、拡大を希望している方が約7割となった。



選択肢	回答数	構成比
よい取組みだ と思う	77	69%
拡大の必要は 無い	23	21%
わからない	11	10%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問3 市では、高齢者の方々等の孤立死・孤独死を防ぐため、様々な事業者と連携した「孤立死防止等ネットワーク」を設けています。この取組を知っていますか？（〇は1つ）

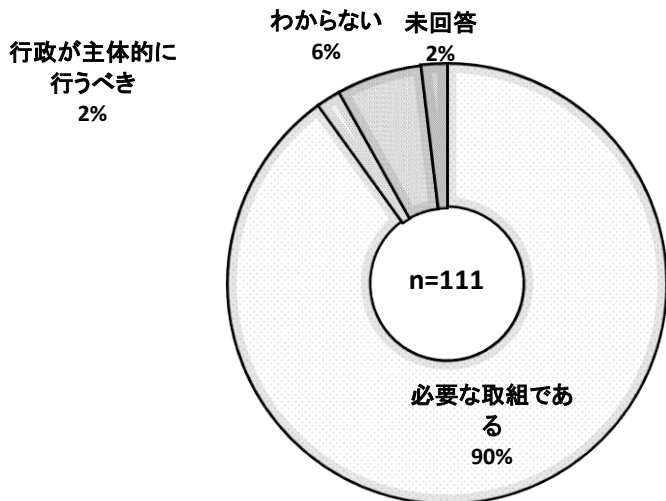
「知らない」が56%と、「知っている」が44%と取組を知らない方が多い結果となった。



選択肢	回答数	構成比
知っている	49	44%
知らない	62	56%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問4 市では、「地域福祉計画」の策定を進めており、高齢者や障がいのあるの方々、子どもたちが地域で安心して生活できるよう、地域の皆さん同士で支えあう仕組みを作っていこうとしています。こうした地域で支えあう仕組みについてどう思いますか？（〇は1つ）

「必要な取組である」が90%と、全体の9割が必要と思っている結果となった。



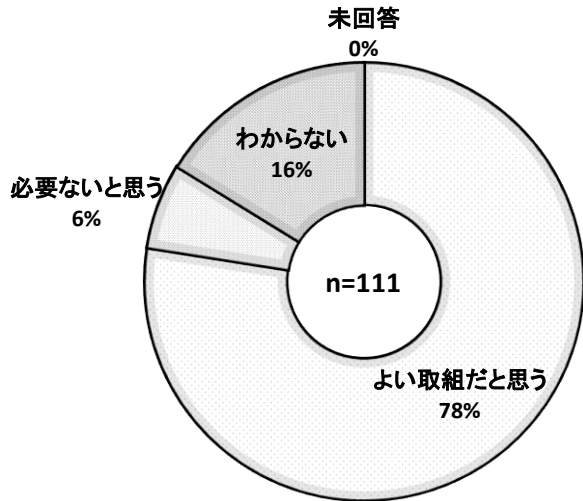
選択肢	回答数	構成比
必要な取組である	100	90%
行政が主体的に行うべき	2	2%
わからない	7	6%
未回答	2	2%
合計	111	100%

問5 高齢者や障がいのあるの方々、子どもたちが安心して生活できるようにするためには、どのような取組が必要だと思いますか？

※ 別紙問5回答一覧を参照

問6 市では、市民の皆さん一人ひとりの医療データを皆さん自身が管理することで、そのデータに基づき、適切な医療、健康情報の提供や緊急時に活かす（これまでの病歴や処方された薬などを把握することで緊急時の対応を速やかに行うなど）ことができる取組を検討しています。こうした取組についてどう思いますか？（○は1つ）

「よい取組みだと思う」が78%と、全体の約8割がよい取組みと思っている結果となった。

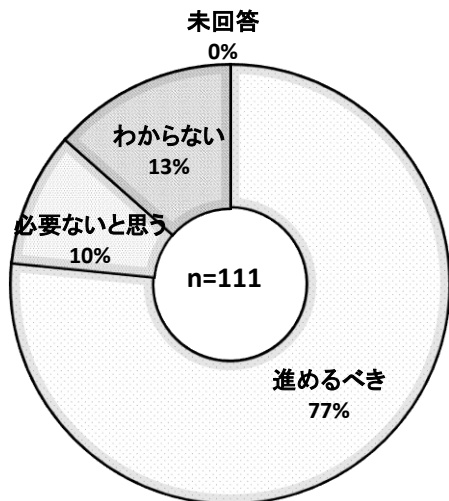


選択肢	回答数	構成比
よい取組みだ と思う	86	78%
必要ないと 思う	7	6%
わからない	18	16%
未回答	0	0%
合 計	111	100%

◆ 豊かな心と個性を育むまちづくりの取組について伺います

問7 【未来デザイン 2050 プロジェクト】市では、野口英世博士の功績を顕彰して創設された「野口英世アフリカ賞」(内閣府)を契機に、市内の高校生が在京の各国大使館やJICA等の国際貢献団体等を訪問するなど、異文化理解や語学習得を目指すプロジェクトに取り組んでいます。国際感覚を持った次世代の育成のため、こうした取組を積極的に進めるべきだと思いますか？(〇は1つ)

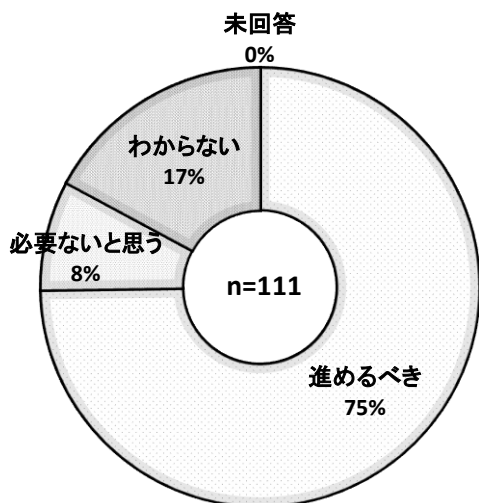
「進めるべき」が77%と、約8割の方が積極的に進めるべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	85	77%
必要ないと思う	11	10%
わからない	15	13%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問8 【コンピュータサイエンスサマーキャンプ】市では、子どもたちのコンピュータサイエンスへの関心を高め、ICT(情報通信技術)関連産業を担う人材を育成するため、会津大学で民間団体が行う取組を支援しています。こうした取組を積極的に進めるべきだと思いますか？(〇は1つ)

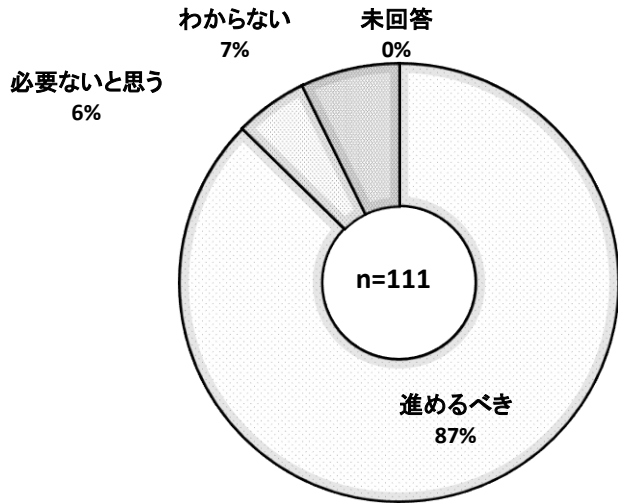
「進めるべき」が75%と、約8割の方が積極的に進めるべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	83	75%
必要ないと思う	9	8%
わからない	19	17%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問9 【未来人材育成成熟】市では、将来の世界、日本、会津若松をリードする人材の育成を図るため、世界、日本で活躍する各界第一人者の話を聞き、子どもたちが、将来の日本、地域の姿を考える機会を設けています。こうした取組を積極的に進めるべきだと思いますか？（○は1つ）

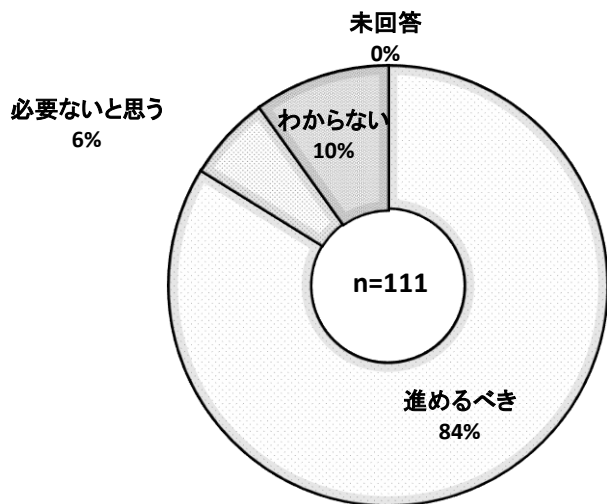
「進めるべき」が87%と、8割以上の方が積極的に進めるべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	97	87%
必要ないと思う	6	6%
わからない	8	7%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問10 【あいづっこ人材育成プロジェクト】市では、「憧れ」「学び」「誇り」をキーワードに、子どもたちの学力の向上と故郷会津に誇りを持つ優れた人材の育成を進める取組を進めています。こうした取組を積極的に進めるべきだと思いますか？（○は1つ）

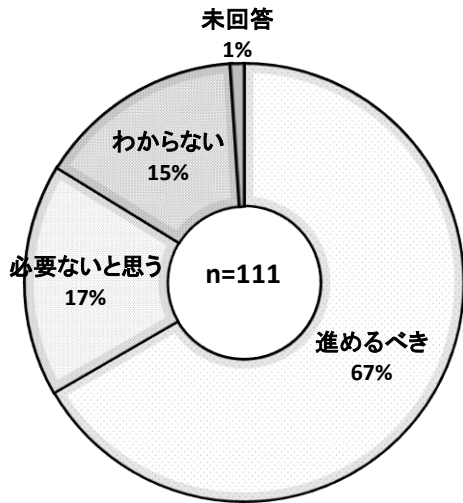
「進めるべき」が84%と、8割以上の方が積極的に進めるべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	93	84%
必要ないと思う	7	6%
わからない	11	10%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問 1 1 他地域では、スポーツ施設などの運営資金などを調達するため、施設の名称に企業の社名やブランド名などをつけることができるようにする取組（例えば、会津球場にスポンサーの社名をつけて「〇〇球場」とするなど）が行われています。こうした取組についてどう思いますか？（〇は1つ）

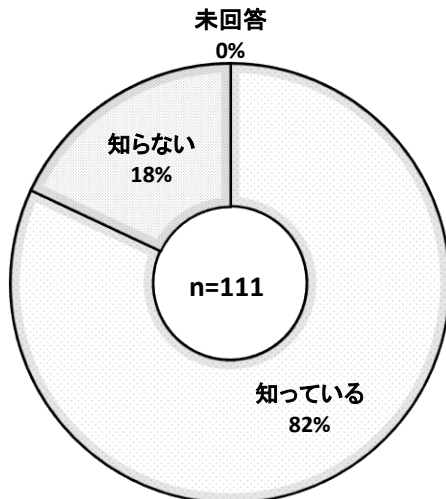
「進めるべき」67%と約7割の方が進めるべきという結果となった。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	74	67%
必要ないと思う	19	17%
わからない	17	15%
未回答	1	1%
合計	111	100%

問 1 2 【あいづまちなかアートプロジェクト】市では、まちなかの蔵や歴史的な建物などで、市が収蔵している美術作品や「漆」などの芸術作品を展示し、市民の皆様や本市を訪れる方に見ていただく取組を行っています。こうした取組を知っていますか？（〇は1つ）

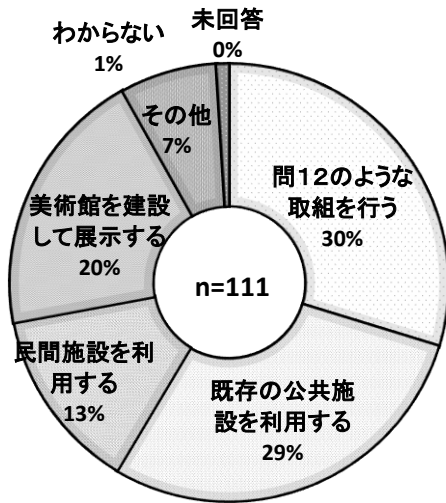
「知っている」が82%という結果となり、8割以上の方が取組を知っているという結果となった。



選択肢	回答数	構成比
知っている	91	82%
知らない	20	18%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問 1 3 美術品や芸術作品を広く皆さんに見ていただくためにはどのような方法が最もよいと思いますか？
(〇は1つ)

「問12のような取組を行う」30%、「既存の公共施設を利用する」29%、「美術館を建設して展示する」20%の順となり、均等に回答が分散した結果となった。

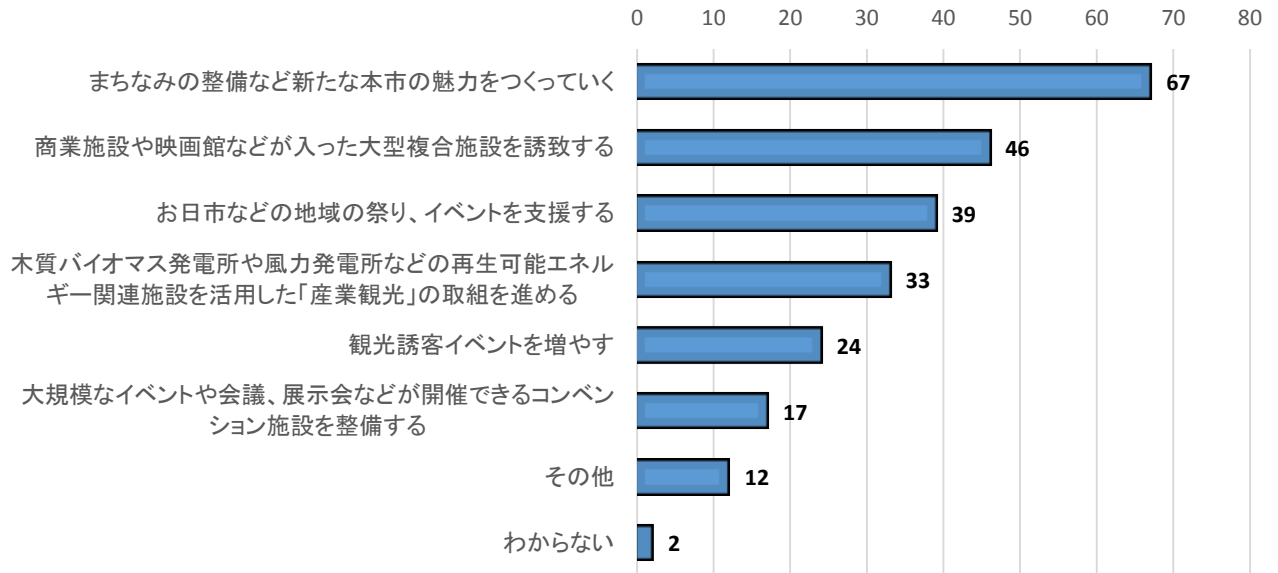


選択肢	回答数	構成比
問12のような取組を行う	33	30%
既存の公共施設を利用する	32	29%
民間施設を利用する	15	13%
美術館を建設し展示する	22	20%
その他	8	7%
わからない	1	6%
未回答	0	1%
合計	339	100%

◆ 活力あるまちづくりの取組について伺います

問14 多くの方々に本市を訪れて（観光、企業交流人口の増加）いただき、また市民同士の交流を促進し、地域を活性化するためにはどのような方法が良いと思いますか？（〇は3つまで）

「まちなみの整備など新たな本市の魅力をつくっていく」、「商業施設や映画館などが入った大型複合施設を誘致する」、「お日市などの地域の祭り、イベントを支援する」の順に回答が多い結果となった。



「クロス集計の結果（地域活性化方策と年齢別内訳）」

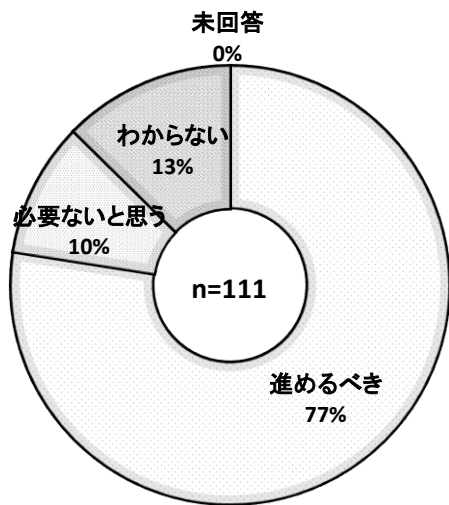
	まちなみの整備など新たな本市の魅力をつくっていく	商業施設や映画館などが入った大型複合施設を誘致する	お日市などの地域の祭り、イベントを支援する	木質バイオマス発電所や風力発電所などの再生可能エネルギー関連施設を活用した「産業観光」の取組を進める	観光誘客イベントを増やす	大規模なイベントや会議、展示会などが開催できるコンベンション施設を整備する
20代	0	0	0	0	0	0
30代	0	0	0	0	0	0
40代	37	22	25	19	8	9
50代	26	21	13	13	14	7
60代	2	3	1	0	1	0
未回答	2	0	0	1	1	1
合計	67	46	39	33	24	17

問15 多くの方々に本市を訪れていただく（観光、企業交流人口の増加）ためには、どのような取組が必要だと思いますか？（自由にご記入ください。）

※ 別紙問15回答一覧を参照

問16 市では、河東工業団地を造成し、企業立地協定により、株式会社羅羅屋（ららや・ランドセル等の製造）会津若松工場や株式会社グリーン発電会津（木質バイオマス発電所）などが立地され、地元の方々が雇用されています。また、門田町徳久地内に新たな工業団地の造成を予定しています。こうした取組を積極的に進めるべきだと思いますか？（○は1つ）

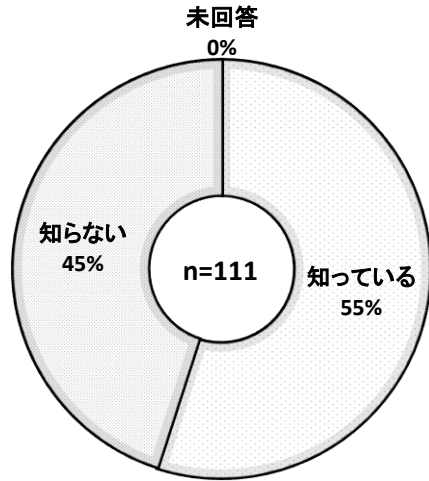
「進めるべき」77%と約8割が、新たな工業団地の造成を積極的に進めるべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	86	77%
必要ないと思う	11	10%
わからない	14	13%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問17 【会津若松医工連携推進プロジェクト】会津地域には、医療機器・医療品大手メーカー、IT企業、大学等が集積しており、これらを活かし、医療分野において新たな産業の創出などに取り組んでいます。こうした取組を知っていますか？（○は1つ）

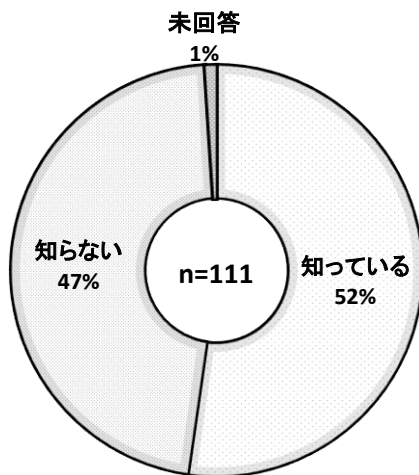
「知っている」が55%となり、半数以上が取組を知っているという結果となった。



選択肢	回答数	構成比
知っている	61	55%
知らない	50	45%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問18 【頑張るものづくり企業支援事業】本市には、地場産業をはじめ「ものづくり」企業が多くあります。市では、こうした企業間の連携を深めるとともに、販路を開拓する取組を行っています。こうした取組を知っていますか？（○は1つ）

問17同様、「知っている」52%と半数以上が取組を知っているという結果となった。



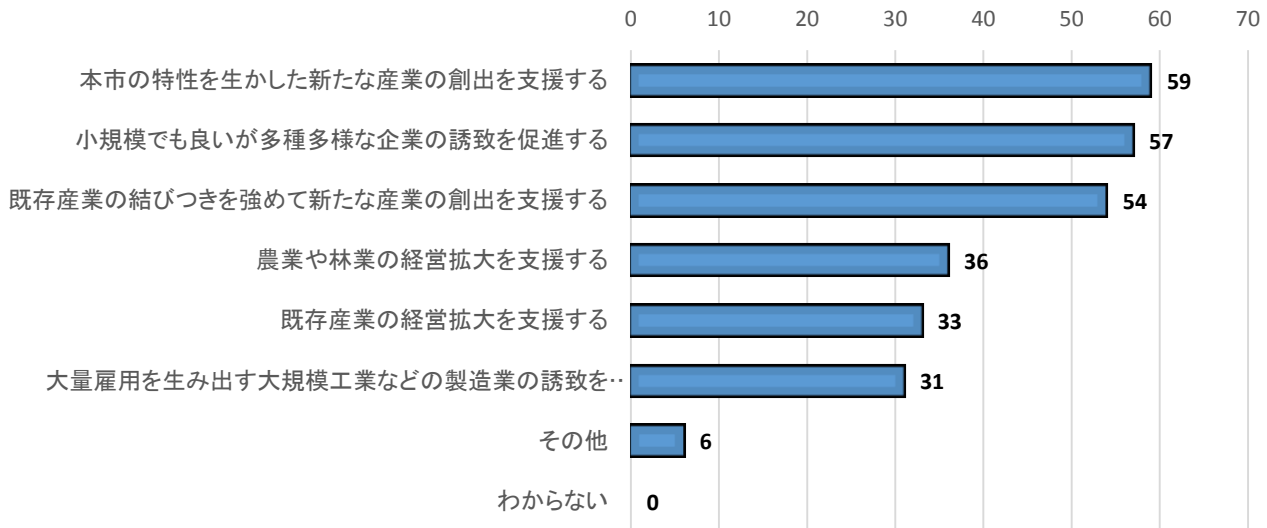
選択肢	回答数	構成比
知っている	58	52%
知らない	52	47%
未回答	1	1%
合計	111	100%

問19 地域経済を活性化するため、地域の資源や特性をいかした「産業おこし（内発的な産業おこし）」などが各地で行われています。今後、本市の経済活動を活性化するためにどのような取組を進めていくべきだと思いますか？（自由にご記入ください。）

※ 別紙問19回答一覧を参照

問20 職を求める方が、希望する職業に就けるよう、地域産業を活性化する必要があります。そのためにはどのような取組が有効だと考えますか？（〇は3つまで）

「本市の特性を生かした新たな産業の創出を支援する」、「小規模でも良いが多種多様な企業の誘致を促進する」、「既存企業の結びつきを強めて新たな産業の創出を支援する」が回答の多い順となった。

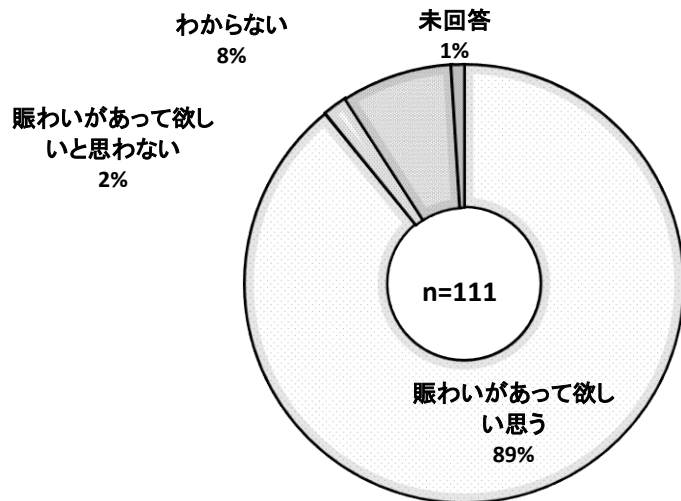


「クロス集計の結果 地域産業活性化の取組と年齢別内訳」

	本市の特性を生かした新たな産業の創出を支援する	小規模でも良いが多種多様な企業の誘致を促進する	既存産業の結びつきを強めて新たな産業の創出を支援する	農業や林業の経営拡大を支援する	既存産業の経営拡大を支援する	大量雇用を生み出す大規模工業などの製造業の誘致を促進する
20代	0	0	0	0	0	0
30代	0	0	0	0	0	0
40代	33	36	32	16	20	15
50代	22	17	20	17	11	15
60代	3	3	1	2	0	0
未回答	1	1	1	1	2	1
合計	59	57	54	36	33	31

問2 1 市では、中心市街地の魅力を高め、活気や賑わいのある地域をつかっていくため、「中心市街地活性化基本計画」を策定し、計画に基づく様々な取組を進めています。市街地中心部は活気、賑わいがあるってほしいと思いますか？（○は1つ）

「賑わいがあるって欲しいと思う」が89%と、約9割が市街地に賑わいがあるって欲しいと思っている結果となった。



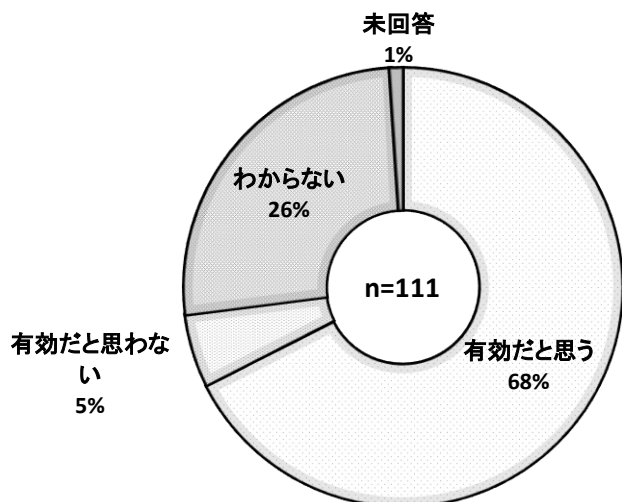
選択肢	回答数	構成比
賑わいがあるって欲しいと思う	98	89%
賑わいがあるって欲しいと思わない	2	2%
わからない	9	8%
未回答	1	1%
合計	111	100%

問2 2 本市の中心市街地の活性化には、どのような取組が必要だと思いますか？（自由にご記入ください。）

※ 別紙問2.2回答一覧を参照

問2 3 農業の後継者が不足する中で、他の地域では、これまでの農業者が行ってきた作業などをデータ化し、経験者のデータに基づいて農業を行う取組も進められています。こうした取組は本市の農業を維持していくために有効だと思いますか？（○は1つ）

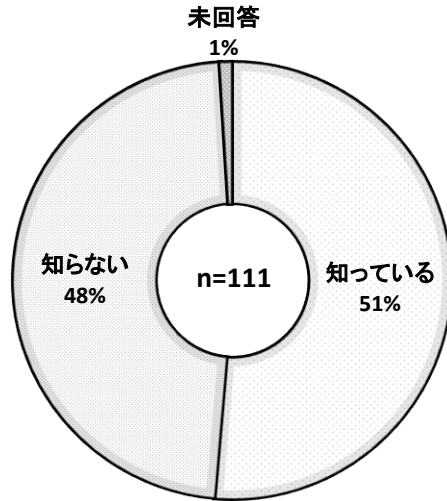
「有効だと思う」が68%と、約7割が有効な取組と思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
有効だと思う	75	68%
有効だと思わない	6	5%
わからない	29	26%
未回答	1	1%
合計	111	100%

問24 市では、流通大手企業と協定を締結し、会津地域の協力関係を構築しながら、農産物をはじめとする会津製品の販売促進、大規模農場の経営や契約農家づくりに取り組んでいます。こうした取組を知っていますか？（○は1つ）

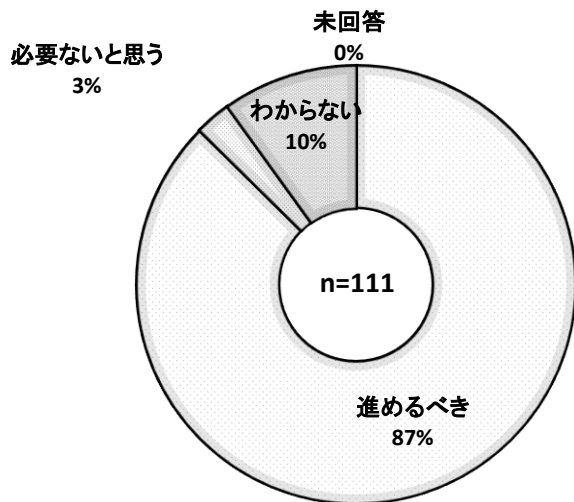
「知っている」が51%、「知らない」が48%と回答が2分する結果となった。



選択肢	回答数	構成比
知っている	57	51%
知らない	53	48%
未回答	1	1%
合計	111	100%

問25 こうした流通大手の企業との連携による本市物産の販路拡大について今後も積極的に進めていくべきだと思いますか？（○は1つ）

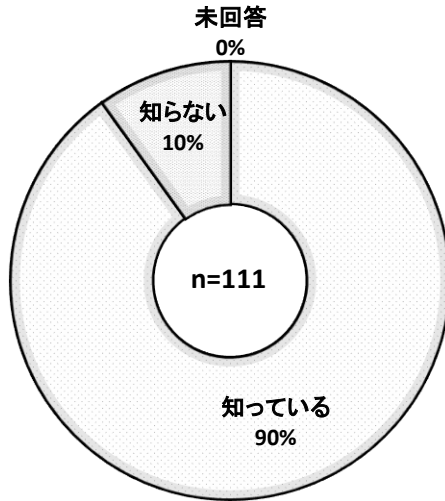
「進めるべき」が87%と、約9割が積極的に進めていくべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	97	87%
必要ないと思う	3	3%
わからない	11	10%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問26 【あいつ食の陣】本市の旬の食材を旬の時期に市内の飲食店などで味わっていただき、農産物の地産地消に結びつけるとともに、本市産農産物の知名度の向上、消費拡大を図るための取組を進めています。こうした取組を知っていますか？（〇は1つ）

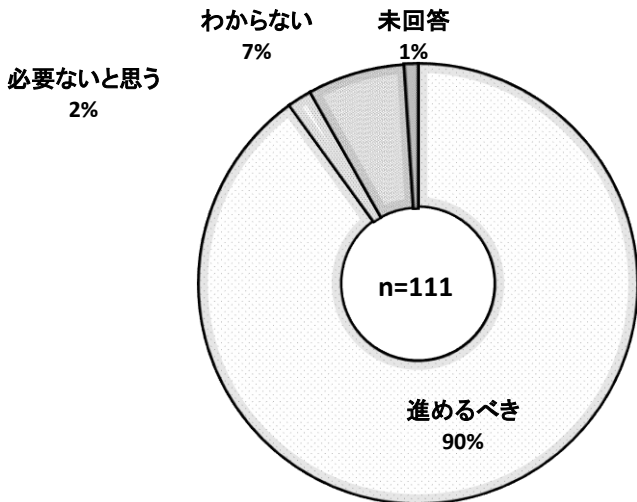
「知っている」90%と、9割が知っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
知っている	100	90%
知らない	11	10%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問27 こうした取組（問26）を積極的に進めていくべきだと思いますか？（〇は1つ）

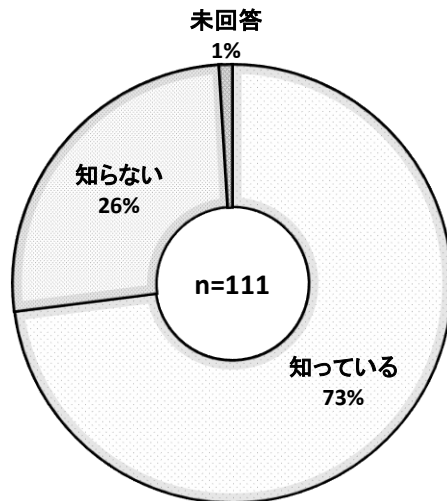
「進めるべき」が90%と、9割が積極的に進めていくべきと思っている回答となった。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	100	90%
必要ないと思う	2	2%
わからない	8	7%
未回答	1	1%
合計	111	100%

問28 河東工業団地で稼働している木質バイオマス発電所では、これまで山林に残されてきた木材等をチップにして、それらを原料として発電（再生可能エネルギー）を行っています。市では、再生可能エネルギーによる発電の促進と、林業の活性化を目指し、木材を山から搬出する経費の一部を支援しています。こうした取組を知っていますか？（〇は1つ）

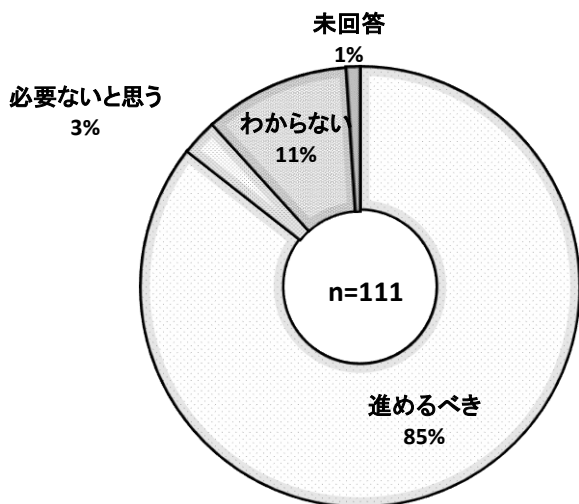
「知っている」が73%、7割以上が知っているという結果となった。



選択肢	回答数	構成比
知っている	81	73%
知らない	29	26%
未回答	1	1%
合計	111	100%

問29 こうした取組（問28）を積極的に進めていくべきだと思いますか？（〇は1つ）

「進めるべき」が85%と、8割以上が積極的に支援を進めるべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	95	85%
必要ないと思う	3	3%
わからない	12	11%
未回答	1	1%
合計	111	100%

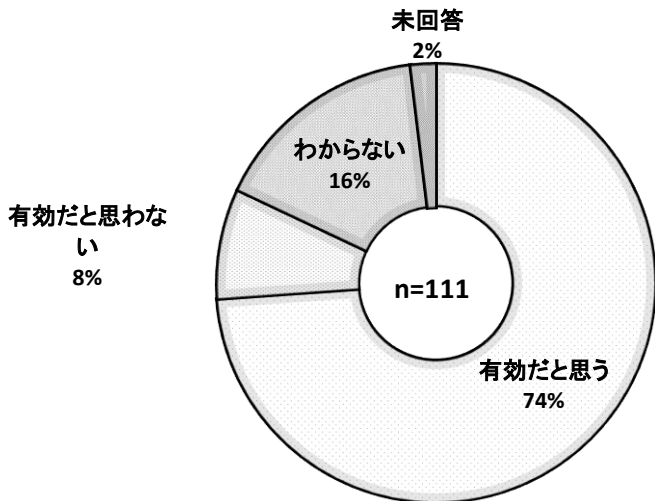
問30 本市を含め、日本の農林業は、農林業従事者の高齢化や耕作放棄地の拡大といった課題を抱えています。市では、担い手育成の取組に加え、大規模農業や技術訓練への支援などの取組を検討していますが、本市の農業や林業の活力再生には、どのような取組が必要だと思いますか？（自由にご記入ください。）

※ 別紙問30回答一覧を参照

◆ 自然にやさしく安全で住みやすいまちづくりについて伺います

問31 市では、環境に配慮するとともに、災害時の非常用電源（電気自動車の蓄電池に蓄えられる電力を災害時には建物の電源として利用）として利用するため、公用車として電気自動車の配置も行っています。こうした取組は環境保全や災害時に有効だと思いますか？（○は1つ）

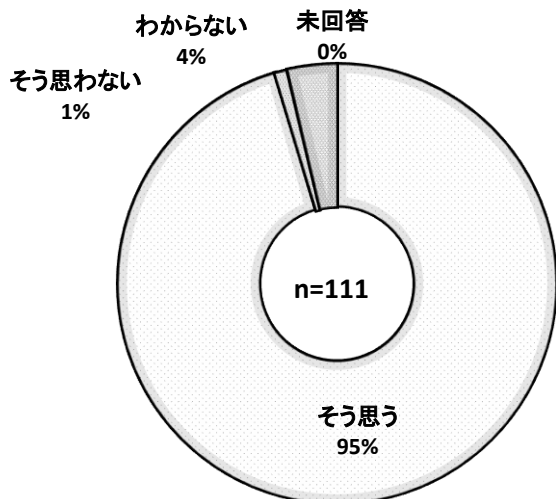
「有効だと思う」が74%と、7割以上が有効な取組と思っているという結果となった。



選択肢	回答数	構成比
有効だと思う	82	74%
有効だと思わない	9	8%
わからない	18	16%
未回答	2	2%
合計	111	100%

問32 市では、市内のエネルギー消費量に占める水力発電や風力発電、太陽光発電、木質バイオマス発電などの再生可能エネルギーの供給量が41%（平成22年度・県内平均約21%）を占めています。環境への配慮とエネルギーの地産地消を目指し、平成35年度にはその割合を60%にする目標を掲げています。こうした再生可能エネルギー（自然エネルギーともいいます。）による電力の供給を増やしていくべきだと思いますか？（○は1つ）

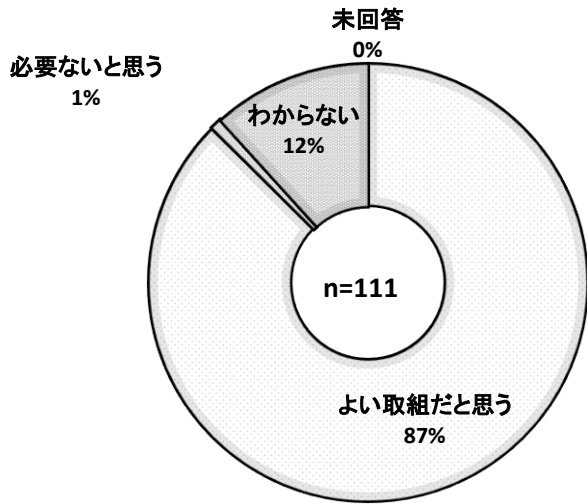
「そう思う」が95%と、ほとんどの回答が再生可能エネルギーによる電力の供給を増やしていくべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
そう思う	106	95%
そう思わない	1	1%
わからない	4	4%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問33 今後、東北電力など電力事業者が、現在の電力メーターを順次、スマートメーター（電力をデジタルで計測して、通信機能により計測値を送信するメーター）に交換することが発表されました。このメーターにより家庭内の電力消費量などが瞬時にわかるとともに、地域内の電力の供給を調整することにも役立ちます。また家庭内の電力使用量の抑制や高齢者世帯などの見守りなどのサービスを行うことも可能となります。こうしたサービスを行政や民間事業者が行っていくことをどのように思いますか？（○は1つ）

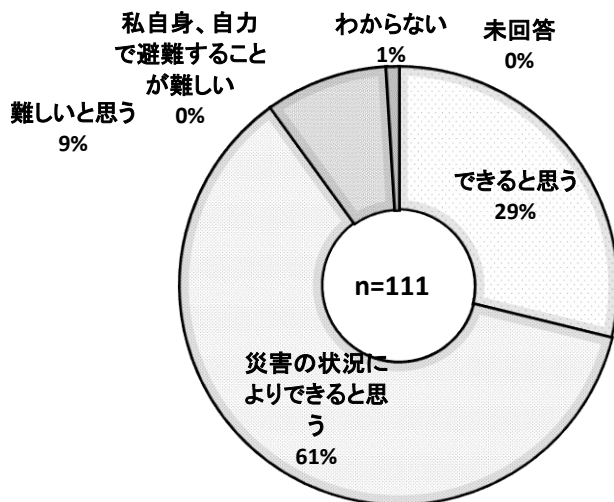
「よい取組だと思う」が87%と、約9割がスマートメーターによるサービス提供の取組が良いと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
よい取組だと思う	97	87%
必要ないと思う	1	1%
わからない	13	12%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問34 市では、「地域防災計画」と災害時対応のマニュアルを策定し、今後、地域の皆様にも説明していく考えです。特に災害時には多くの方々の協力やお手伝いが必要とされます。災害時に自力で避難できない方が自宅や職場の近くにいる場合、事前にそうした方々の情報があれば、避難のお手伝いができますか？（○は1つ）

「災害の状況により出来ると思う」61%、「できると思う」29%と、9割が非難の手伝い出来るという回答となった。



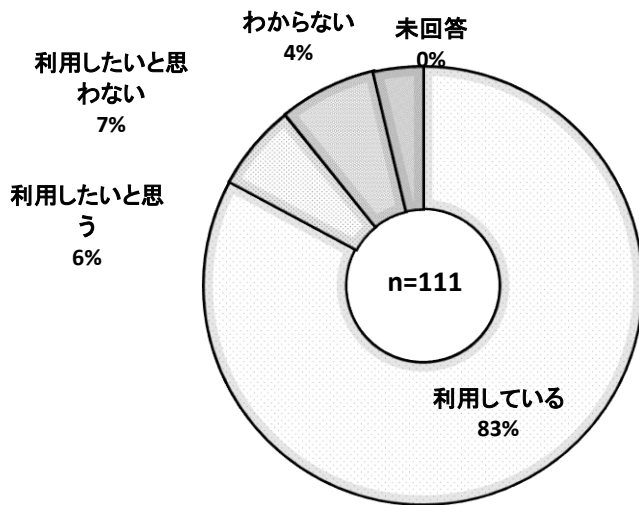
選択肢	回答数	構成比
できると思う	32	29%
災害の状況によりできると思う	68	61%
難しいと思う	10	9%
私自身、自力で避難することが難しい	0	0%
わからない	1	1%
未回答	0	0%
合計	111	100%

「問34 クロス集計の結果（地区別内訳）」

	できると思う	災害の状況により できると思う	難しいと思う	自力で避難が 難しい
鶴城	3	3	0	0
城北	2	0	0	0
行仁	2	2	2	0
城西	1	6	0	0
謹教	1	2	0	0
日新	0	5	0	0
湊	1	0	0	0
一箕	4	8	1	0
松長	0	2	0	0
永和	0	3	0	0
神指	1	1	0	0
門田	1	8	1	0
城南	0	1	0	0
大戸	0	0	0	0
東山	2	4	1	0
小金井	0	1	0	0
荒館	3	3	3	0
川南	1	1	0	0
河東	4	8	0	0
喜多方市	0	4	0	0
下郷町	1	0	0	0
磐梯町	0	0	0	0
猪苗代町	0	0	0	0
会津坂下町	0	0	0	0
湯川村	1	3	1	0
柳津町	0	1	0	0
会津美里町	2	2	1	0
その他	1	0	0	0

問35 様々な情報の収集や発信、他の人との連絡にインターネット（携帯電話を含む。）を利用していますか？また利用したいと思いますか？（○は1つ）

「利用している」が83%と、8割以上がインターネット利用している結果となった。

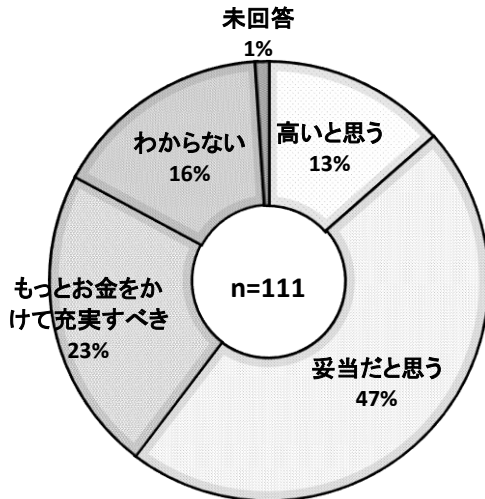


選択肢	回答数	構成比
利用している	92	83%
利用したいと思う	7	6%
利用したいと思わない	8	7%
わからない	4	4%
未回答	0	0%
合計	111	100%

◆ 快適で利便性の高いまちづくりについて伺います。

問36 市では、除雪、排雪の実施にあたって平成20～24年度において年間平均約5億6,300万円、市民1人あたりに換算すると年間約4,600円の費用をかけています。この金額についてどう思いますか？（○は1つ）

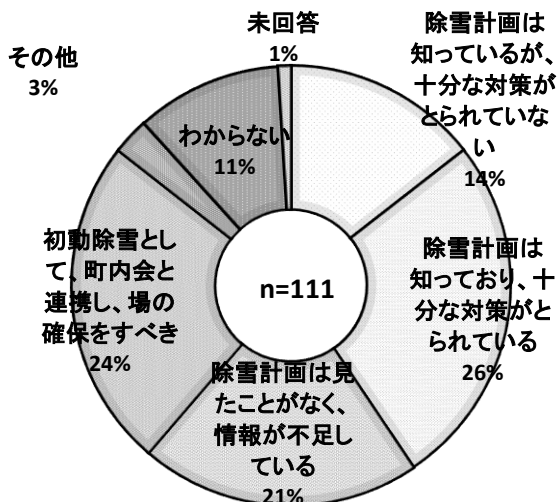
「妥当だと思う」47%、「もっとお金をかけて充実すべき」23%の順という結果となった。



選択肢	回答数	構成比
高いと思う	15	13%
妥当だと思う	52	47%
もっとお金をかけて充実すべき	25	23%
わからない	18	16%
未回答	1	1%
合計	111	100%

問37 あなたは、市の除雪計画（対策）をどう思いますか？（○は1つ）

「除雪計画は知っており、十分な対策がとられている」が26%、「初動除雪として、町内会と連携し、場の確保をすべき」が24%、「除雪計画は見たことがなく、情報が不足している」が21%の順という結果となった。



選択肢	回答数	構成比
十分な対策がとられていない	16	14%
十分な対策がとられている	29	26%
情報が不足している	23	21%
町内会と連携、場の確保が必要	27	24%
その他	3	3%
わからない	12	11%
未回答	1	1%
合計	111	100%

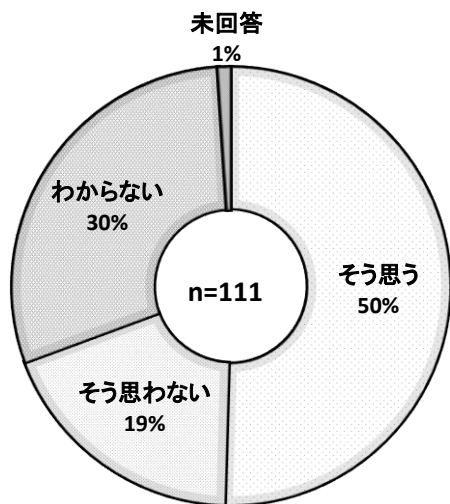
問38 除雪、排雪のあり方について有効だと思う手法があればお聞かせください。(自由にご記入ください。)

※ 別紙問38回答一覧を参照

◆ パートナーシップのまちづくりについて伺います。

問39 あなたの住む地域の皆さんは、困ったときに助け合える関係だと思えますか？（〇は1つ）

「そう思う」が50%、半数方が助け合える関係と思っている結果となった。



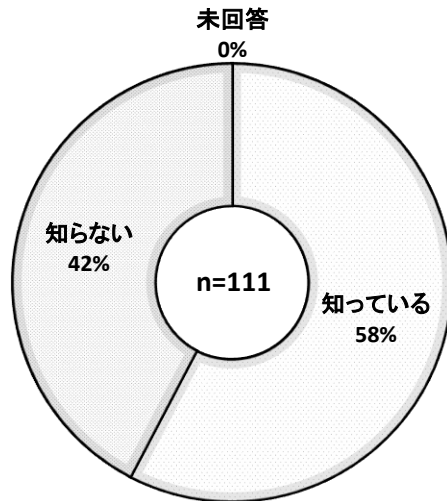
選択肢	回答数	構成比
そう思う	56	50%
そう思わない	21	19%
わからない	33	30%
未回答	1	1%
合計	111	100%

「問39 クロス集計の結果 地区別内訳」

	そう思う	そう思わない	わからない
鶴城	2	3	1
城北	2	0	0
行仁	2	1	3
城西	2	2	3
謹教	1	1	1
日新	1	3	1
湊	1	0	0
一箕	5	3	6
松長	0	0	2
永和	3	0	0
神指	0	2	0
門田	3	2	5
城南	1	0	0
大戸	0	0	0
東山	2	3	2
小金井	1	0	0
荒館	5	2	2
川南	2	0	0
河東	10	0	1
市外	13	1	4

問40 【市民協働推進指針】地域の方々や市民団体の皆様の様々な活動を支援するとともに、市と地域、市民団体の方々が連携して（「協働」により）地域の課題を解決していくため、その連携のあり方などを「指針」としてまとめました。この指針を知っていますか？（○は1つ）

「知っている」58%、「知らない」が42%と知っているが若干知らないを上回る結果となった。



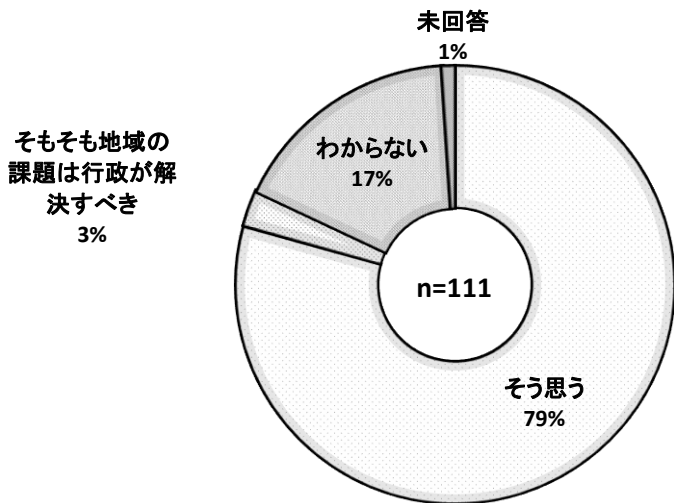
選択肢	回答数	構成比
知っている	64	58%
知らない	47	42%
未回答	0	0%
合計	111	100%

問41 行政と市民の皆様が協働で（共に）取り組んでいくことがのぞましいと思うことについて、なるべく具体的にご記入ください。（自由にご記入ください。）

※ 別紙問41回答一覧を参照

問 4 2 【地域づくり委員会】市民の皆様からいただくご要望や地域の課題は多様化してきており、これまでの行政サービスのみでは、対応が難しいものも多くあります。こうしたことから、地域の皆様とともに解決策を見出していくため、河東地区や北会津地区では地域住民の方々による「地域づくり委員会」が設置され、身近な課題解決のための取組が行われています。こうした地域の皆様自らによる地域の課題解決に向けた活動を市は積極的に支援すべきだと思いますか？（○は1つ）

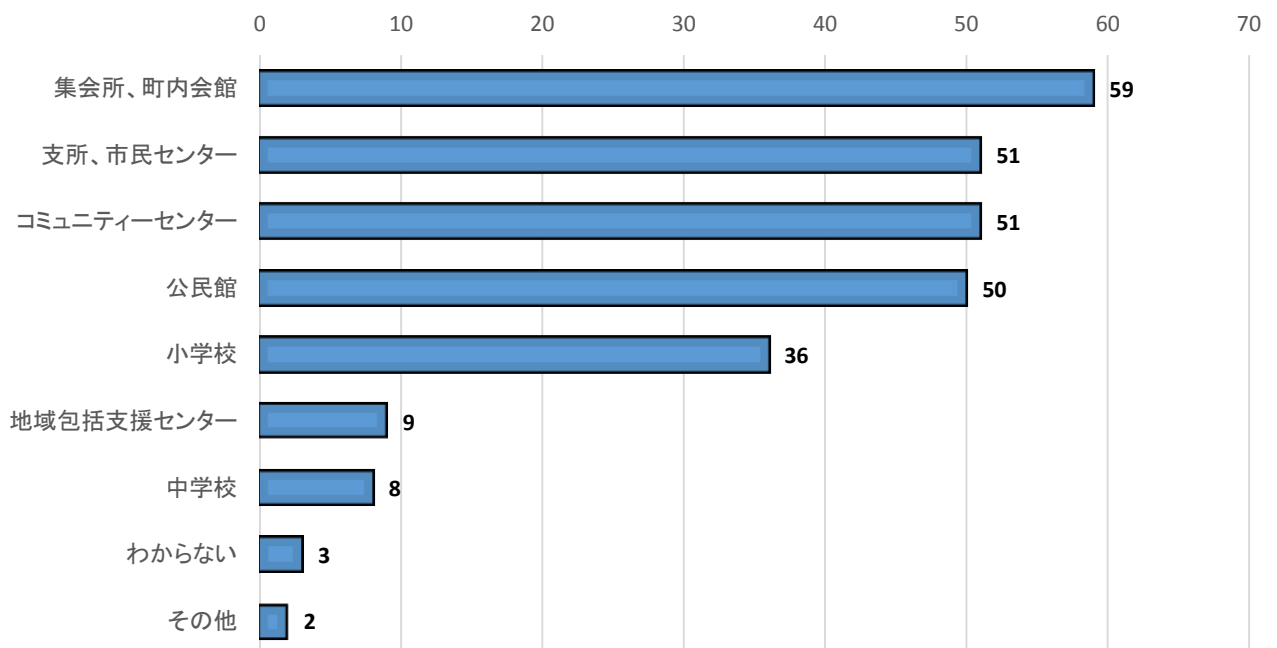
「そう思う」が79%と、約8割が市が積極的に支援すべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
そう思う	88	79%
地域の課題は行政が解決すべき	3	3%
わからない	19	17%
未回答	1	1%
合計	111	100%

問 4 3 「地域」の核（拠点）となる施設は、次のどの施設だと思いますか？（○は3つまで）

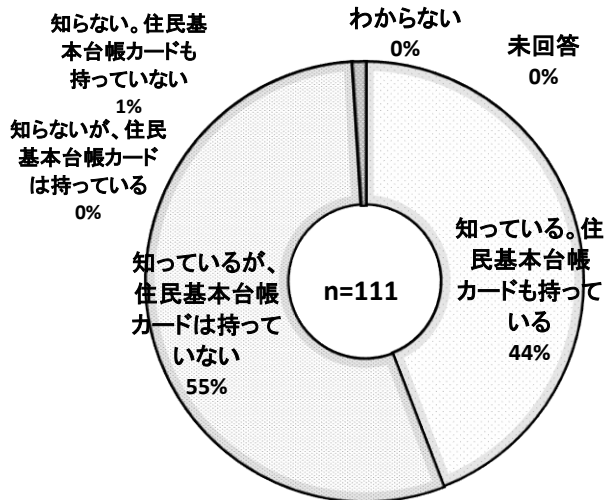
「集会所、町内会館」、「支所、市民センター」、「コミュニティーセンター」、の順という結果となった。



◆ 市政運営について伺います。

問 4 4 市の住民基本台帳カードをお持ちの方は、全国のコンビニエンスストア（年末年始を除く午前6時30分～午後11時まで）で、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄本・抄本等を取得することができます。こうした取組を知っていますか？（○は1つ）

「知っているが、住民基本台帳カードは持っていない」55%、「知っている、住民基本台帳カードも持っている」44%と、ほとんどが住民基本台帳カードを知っているという結果となった。しかし、全体の約5割以上が住民基本台帳カードを持っていない結果となった。



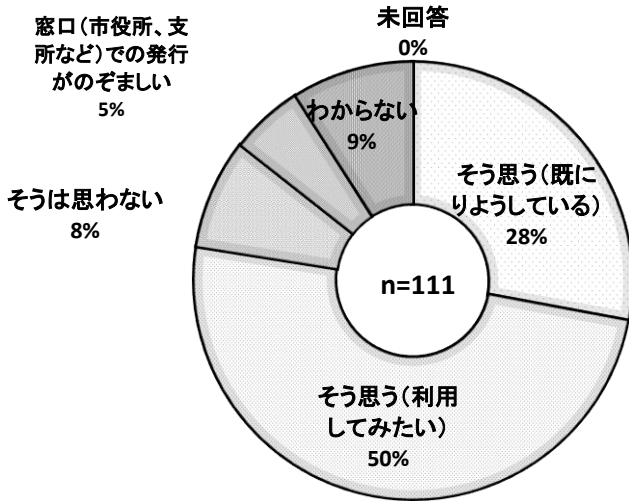
選択肢	回答数	構成比
知っている。カードも持っている	49	44%
知っている。カードは持っていない	61	55%
知らない。カードは持っている	0	0%
知らない。カードも持っていない	1	1%
わからない	0	0%
未回答	0	0%
合計	111	100%

「問 4 4 クロス集計の結果（年代別）」

	知っている。住民基本台帳カードも持っている	知っているが、住民基本台帳カードは持っていない	知らないが、住民基本台帳カードは持っている	知らない。住民基本台帳カードも持っていない	わからない
20代	0	0	0	0	0
30代	0	0	0	0	0
40代	30	31	0	1	0
50代	15	28	0	0	0
60代	2	1	0	0	0
未回答	2	1	0	0	0
合計	49	61	0	1	0

**問 4 5 様々な証明書などをコンビニエンスストアで受け取れるサービスは便利だと思いますか？
(○は1つ)**

「そう思う（利用してみたい）」50%、「そう思う（既に利用している）」28%と、約8割が便利だと思っている結果となった。



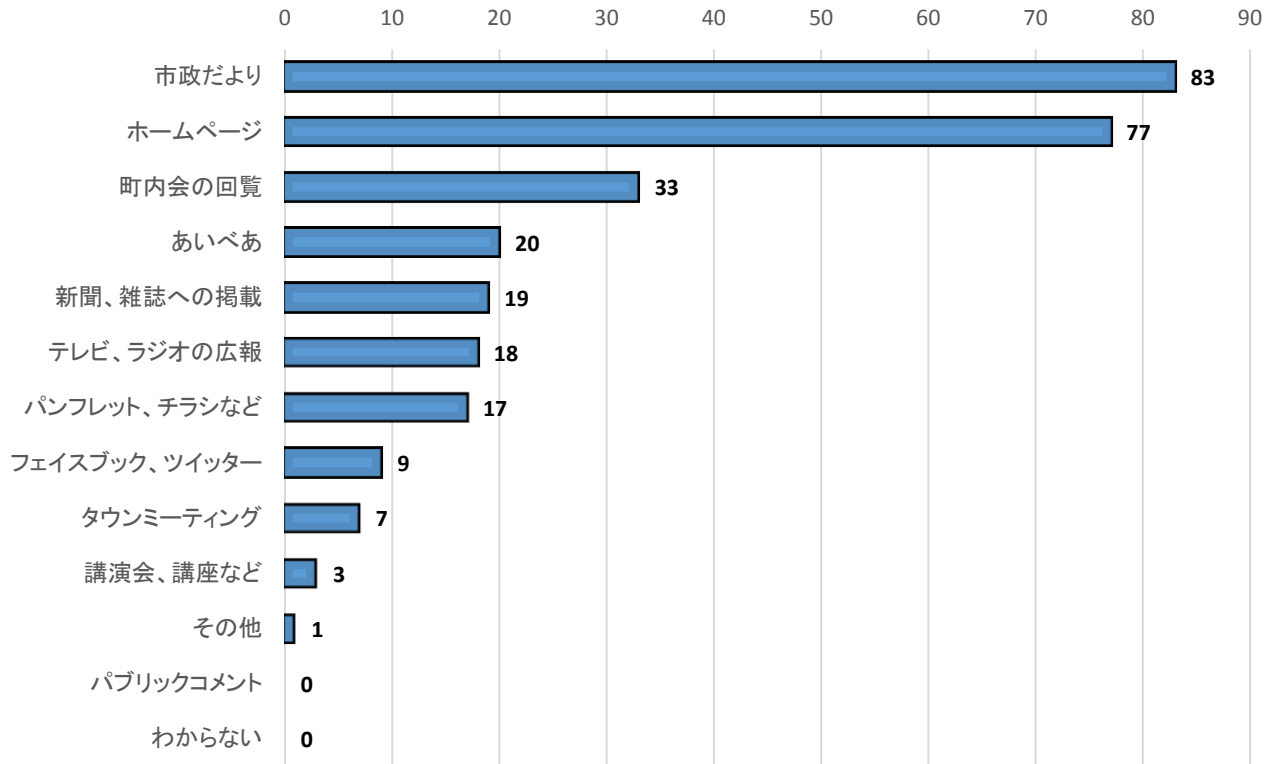
選択肢	回答数	構成比
そう思う（既に利用している）	31	28%
そう思う（利用してみたい）	55	50%
そうは思わない	9	8%
窓 口	6	5%
わからない	10	9%
未回答	0	0%
合 計	111	100%

「問 4 5 クロス集計の結果（年代内訳）」

	そう思う（既に利用している）	そう思う（利用してみたい）	そうは思わない	窓口（市役所、支所など）での発行がのぞましい	わからない
20代	0	0	0	0	0
30代	0	0	0	0	0
40代	16	28	6	5	7
50代	11	26	2	1	3
60代	2	1	0	0	0
未回答	2	0	1	0	0
合 計	31	55	9	6	10

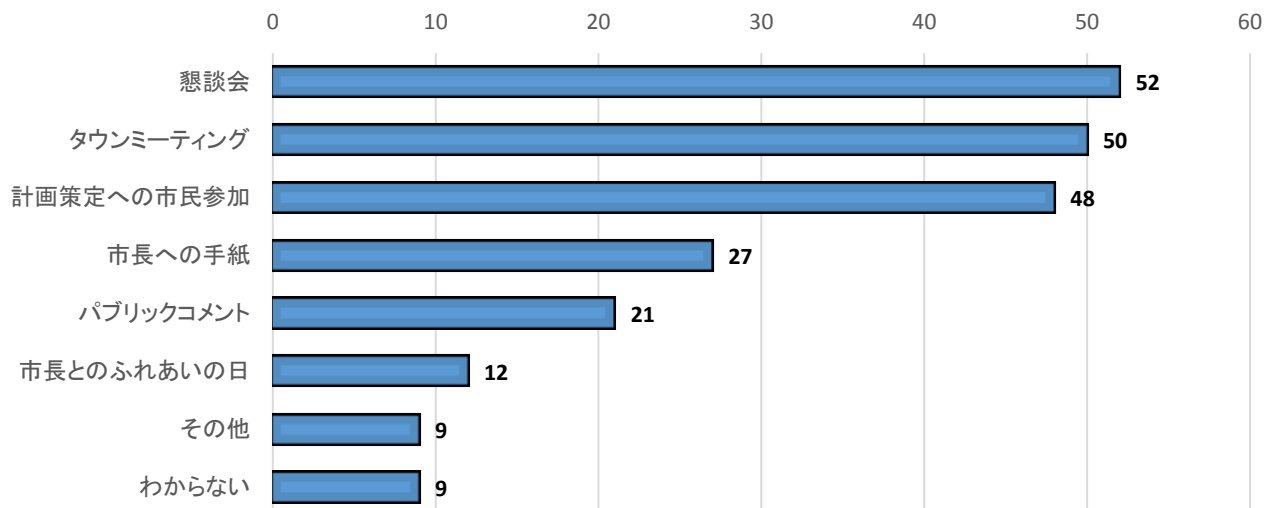
**問 4 6 市からの情報を受け取る手段として、充実させる必要があると思うものは何ですか？
（〇は3つまで）**

「市政だより」、「ホームページ」、「町内会の回覧」の順という結果となった。



問 4 7 身近な課題、または地域の課題の解決に向けて市に要望、提案する手段として、あなたは何を充実させるべきだと考えますか？（〇は3つまで）

「懇談会」、「タウンミーティング」、「計画策定への市民参加」の順という結果となった。

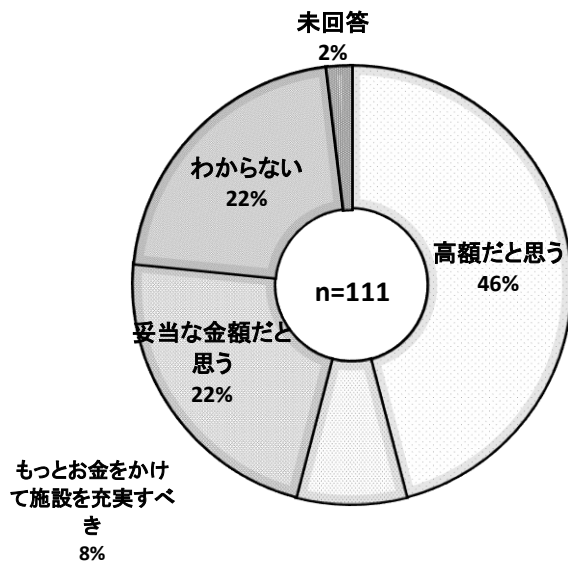


問 4 8 地域や身近な課題の解決に向けて、市に要望、提案する手段、手法として、どのような仕組みがあればよいと思いますか。（自由にご記入ください。）

※ 別紙問 4 8 回答一覧を参照

問 4 9 市の公共施設の維持管理には、建物の減価償却費を含め、年間約 5 6 億 7 千 4 百万円（平成 2 3 年度決算額）という費用がかかっている実態にあり、市民 1 人当たりには換算すると約 4 5, 0 0 0 円を負担していることとなります。この金額についてどう思いますか？（○は 1 つ）

「高額だと思う」が 4 6 % と、半数が高額だと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
高額だと思う	51	46%
もっとお金をかけて充実すべき	9	8%
適切な金額だと思う	25	22%
わからない	24	22%
未回答	2	2%
合計	111	100%

「問 4 9 クロス集計の結果（年代別内訳）」

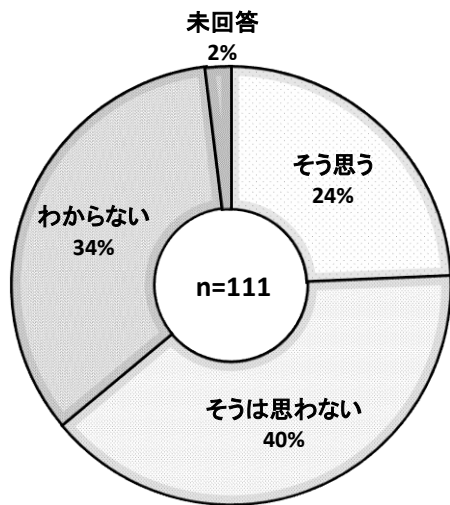
	高額だと思う	もっとお金をかけて施設を充実すべき	適切な金額だと思う	わからない
2 0 代	0	0	0	0
3 0 代	0	0	0	0
4 0 代	33	4	10	14
5 0 代	16	4	13	9
6 0 代	1	1	0	1
未回答	1	0	2	0
合計	51	9	25	24

「問49 クロス集計の結果 地区別」

	高額だと思う	もっとお金をかけて 施設を充実すべき	妥当な金額だと思う	わからない
鶴城	4	0	1	1
城北	0	1	1	0
行仁	4	0	0	2
城西	4	0	3	0
謹教	1	0	2	0
日新	4	0	0	1
湊	1	0	0	0
一箕	4	3	3	4
松長	2	0	0	0
永和	1	1	1	0
神指	2	0	0	0
門田	2	1	4	2
城南	1	0	0	0
大戸	0	0	0	0
東山	3	2	0	2
小金井	1	0	0	0
荒館	5	0	3	1
川南	1	0	0	1
河東	6	0	1	5
市外	5	1	6	5

問50 あなたは、市の公共施設が有効に活用されていると思いますか？（〇は1つ）

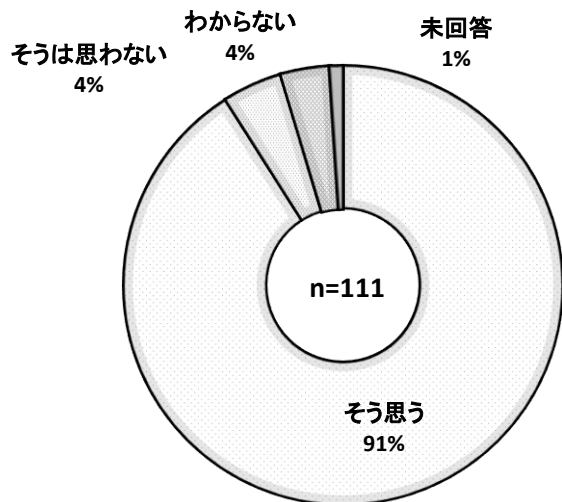
「そう思わない」40%、「わからない」34%、「そう思う」24%となり、有効活用されていると思っている結果が2割しかない結果となった。



選択肢	回答数	構成比
そう思う	27	24%
そうは思わない	44	40%
わからない	38	34%
未回答	2	2%
合計	111	100%

問51 今後、建替や修繕が必要な公共施設の増加が見込まれています。公共施設の配置や機能を検討し、複数の機能を持った集約した施設とするなど、合理的な利用を進めるべきだと思いますか？（〇は1つ）

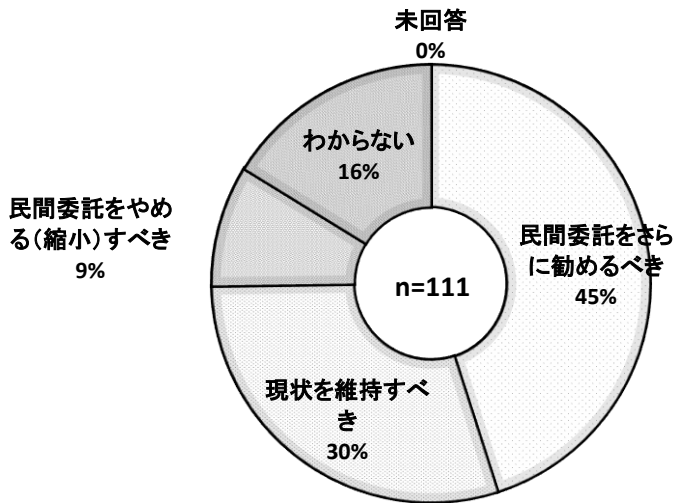
「そう思う」91%と、9割以上が合理的な利用を進めるべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
そう思う	101	91%
そうは思わない	5	4%
わからない	4	4%
未回答	1	1%
合計	111	100%

問5 2 市では、市税等の財源を有効に活用する取組の一環として、市役所の仕事のアウトソーシング（民間委託等）を進め、学校給食の調理・配送、ゴミ収集、図書館の貸出業務などの民間委託を行っていますが、これらの取組に対してどのように考えますか？（○は1つ）

「民間委託をさらに進めるべき」45%、「現状を維持すべき」30%と、7割以上が民間委託の取組を行っていく事を進めていく結果となった。



選択肢	回答数	構成比
民間委託を更に進めるべき	50	45%
現状を維持すべき	33	30%
民間委託をやめる(縮小)	10	9%
わからない	18	16%
未回答	0	0%
合計	111	100%

「問5 2 クロス集計の結果（年齢別）」

	民間委託をさらに進めるべき	現状を維持すべき	民間委託をやめる(縮小)すべき	わからない
20代	0	0	0	0
30代	0	0	0	0
40代	34	17	2	9
50代	13	13	8	9
60代	1	2	0	0
未回答	2	1	0	0
合計	50	33	10	18

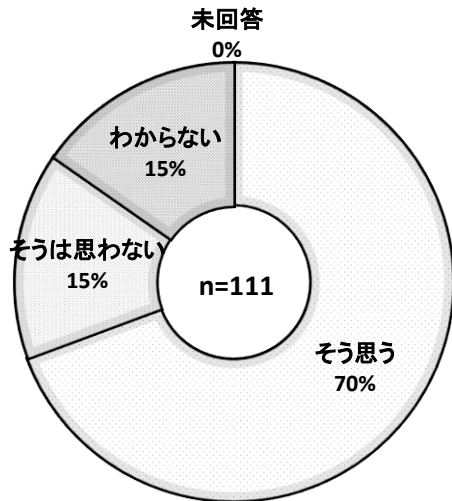
問5 3 （問5 3で「民間委託をさらに進めるべき」と答えた方に伺います。）どのような業務を民間委託したら良いと思いますか？お考えがあればお聞かせください。（自由にご記入ください。）

※ 別紙問5 3回答一覧を参照

◆ 市役所の庁舎について伺います。

問5 4 あなたは、新しい市役所庁舎の建設を早めに進めるべきだと思いますか？（○は1つ）

「そう思う」70%、「そうは思わない」15%となり、7割が早めに進めるべきと思っている結果となった。



選択肢	回答数	構成比
そう思う	77	70%
そうは思わない	17	15%
わからない	17	15%
未回答	0	0%
合計	111	100%

「問5 4 クロス集計の結果（地区別内訳）」

	そう思う	そうは思わない	わからない
鶴 城	4	1	1
城 北	2	0	0
行 仁	5	0	1
城 西	4	1	2
謹 教	1	1	1
日 新	3	0	2
湊	1	0	0
一 箕	12	1	1
松 長	2	0	0
永 和	2	1	0
神 指	0	2	0
門 田	7	3	0
城 南	0	1	0
大 戸	0	0	0
東 山	5	1	1
小金井	1	0	0
荒 館	7	1	1
川 南	0	0	2
河 東	8	2	2
市 外	13	2	3

「問54 クロス集計の結果（年齢別）」

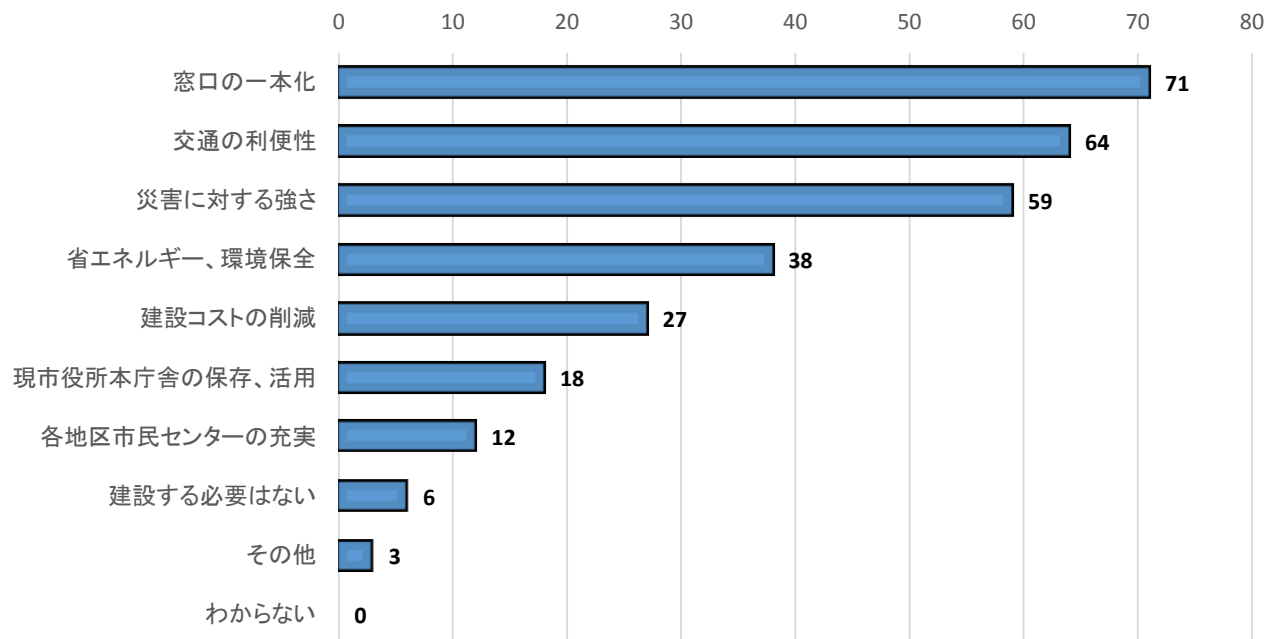
	そう思う	そうは思わない	わからない
20代	0	0	0
30代	0	0	0
40代	50	5	7
50代	25	9	9
60代	2	1	0
未回答	0	2	1
合計	77	17	17

問55 よろしければ、問54で、1又は2と答えた理由をお聞かせください。（自由にご記入ください。）

※ 別紙問55回答一覧を参照

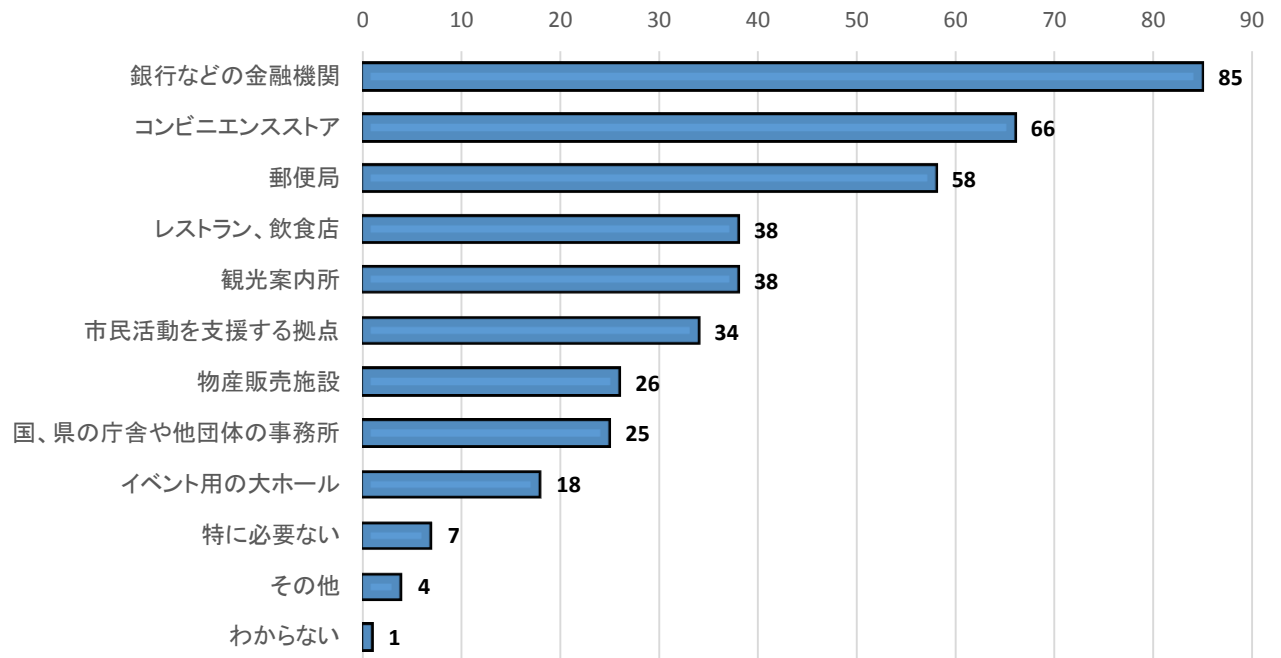
問56 新しい市役所庁舎を建設する場合、主に配慮すべき点はどのような点だと思いますか？（〇は3つまで）

「窓口の一本化」、「交通の利便性」、「災害に対する強さ」の順という結果となった。



問57 新しい市役所庁舎を建設する場合、庁舎の中に、どのような施設が併設されていけば良いと思いますか？（〇はいくつでも）

「銀行などの金融機関」、「コンビニエンスストア」、「郵便局」の順という結果となった。



◆ スマートシティ会津若松について伺います。

問58 【スマートシティ会津若松】市では、情報通信技術（ICT）や環境技術などを活用しながら、健康や福祉、教育、防災、さらにはエネルギー、交通、環境といった市民生活を取り巻く様々な分野での結びつきを深めることにより、将来においても市民の皆様が安心して快適に生活できるようなまちづくりを進めています。こうした情報通信技術や環境技術をどのように皆様の生活に役立てていけば良いと思いますか。（自由にご記入ください。）

※ 別紙問58回答一覧を参照

問59 将来に向け地域社会を持続、発展させていくためには、市としてどのような政策に重点を取り組むべきだとおもいますか？個々の政策の優先度について、あてはまるものを1つずつ選んで、該当する数字に○印をつけてください。

各政策の中から「子育てしやすいまちをつくる」、「雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる」、「豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる」の順に優先度が高い結果となった。

	優先すべき	やや優先すべき	あまり優先しなくてよい	優先しなくてよい	わからない	未回答
子育てしやすいまちをつくる	81	26	2	0	2	0
高齢者が元気にくらせるまちをつくる	47	48	11	2	3	0
自立と社会参加を推進するまちをつくる	39	51	15	2	4	0
健康づくりが充実したまちをつくる	40	55	11	1	4	0
誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる	16	50	33	8	4	0
豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる	63	37	9	0	2	0
スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる	17	49	33	7	5	0
歴史・文化を守り育てるまちをつくる	26	56	21	3	5	0
観光を振興し活気のあるまちをつくる	39	51	14	2	5	0
商工業を振興し経済活力あるまちをつくる	48	50	10	0	3	0
中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる	19	56	25	5	6	0
雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる	78	28	3	0	2	0
生産性の高い農林業がいきづまをつくる	35	54	16	0	6	0
環境と調和した地球にやさしいまちをつくる	25	56	19	7	4	0
環境への負荷が少ないまちをつくる	32	59	10	6	4	0
安全で安心できるまちをつくる	57	43	8	0	3	0
情報化の進んだまちをつくる	16	54	29	4	8	0
花と緑にあふれるまちをつくる	8	34	45	14	10	0
快適な都市空間が形成されたまちをつくる	13	63	24	8	3	0
都市交通対策が進んだまちをつくる	29	59	19	1	3	0
身近な住環境が整備されたまちをつくる	30	64	15	0	2	0
雪に強いまちをつくる	57	47	3	0	4	0
ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる	19	60	16	13	3	0
男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる	12	51	33	12	3	0
市民活動が活発なまちをつくる	31	50	21	5	4	0
連携と交流が盛んなまちをつくる	4	34	51	14	8	0
評価システムによる行政運営を行う	6	46	37	10	12	0
効率的で効果的な行政運営を行う	28	52	16	6	9	0

「問59 クロス集計の結果（40代構成比）」

	優先すべき	優先しなく てよい	わからない
子育てしやすいまちをつくる	95%	2%	3%
高齢者が元気にくらせるまちをつくる	82%	13%	5%
自立と社会参加を推進するまちをつくる	76%	21%	3%
健康づくりが充実したまちをつくる	81%	15%	5%
誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる	47%	48%	5%
豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる	89%	8%	3%
スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる	53%	42%	5%
歴史・文化を守り育てるまちをつくる	66%	27%	6%
観光を振興し活気のあるまちをつくる	79%	16%	5%
商工業を振興し経済活力あるれるまちをつくる	85%	11%	3%
中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる	61%	31%	8%
雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる	94%	3%	3%
生産性の高い農林業がいきづくまちをつくる	77%	18%	5%
環境と調和した地球にやさしいまちをつくる	66%	27%	6%
環境への負荷が少ないまちをつくる	76%	18%	6%
安全で安心できるまちをつくる	87%	8%	5%
情報化の進んだまちをつくる	55%	35%	10%
花と緑にあふれるまちをつくる	32%	58%	10%
快適な都市空間が形成されたまちをつくる	66%	29%	5%
都市交通対策が進んだまちをつくる	77%	18%	5%
身近な住環境が整備されたまちをつくる	77%	19%	3%
雪に強いまちをつくる	89%	5%	6%
ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる	63%	32%	5%
男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる	47%	48%	5%
市民活動が活発なまちをつくる	69%	24%	6%
連携と交流が盛んなまちをつくる	34%	56%	10%
評価システムによる行政運営を行う	40%	47%	13%
効率的で効果的な行政運営を行う	69%	21%	10%

「問59 クロス集計の結果（50代構成比）」

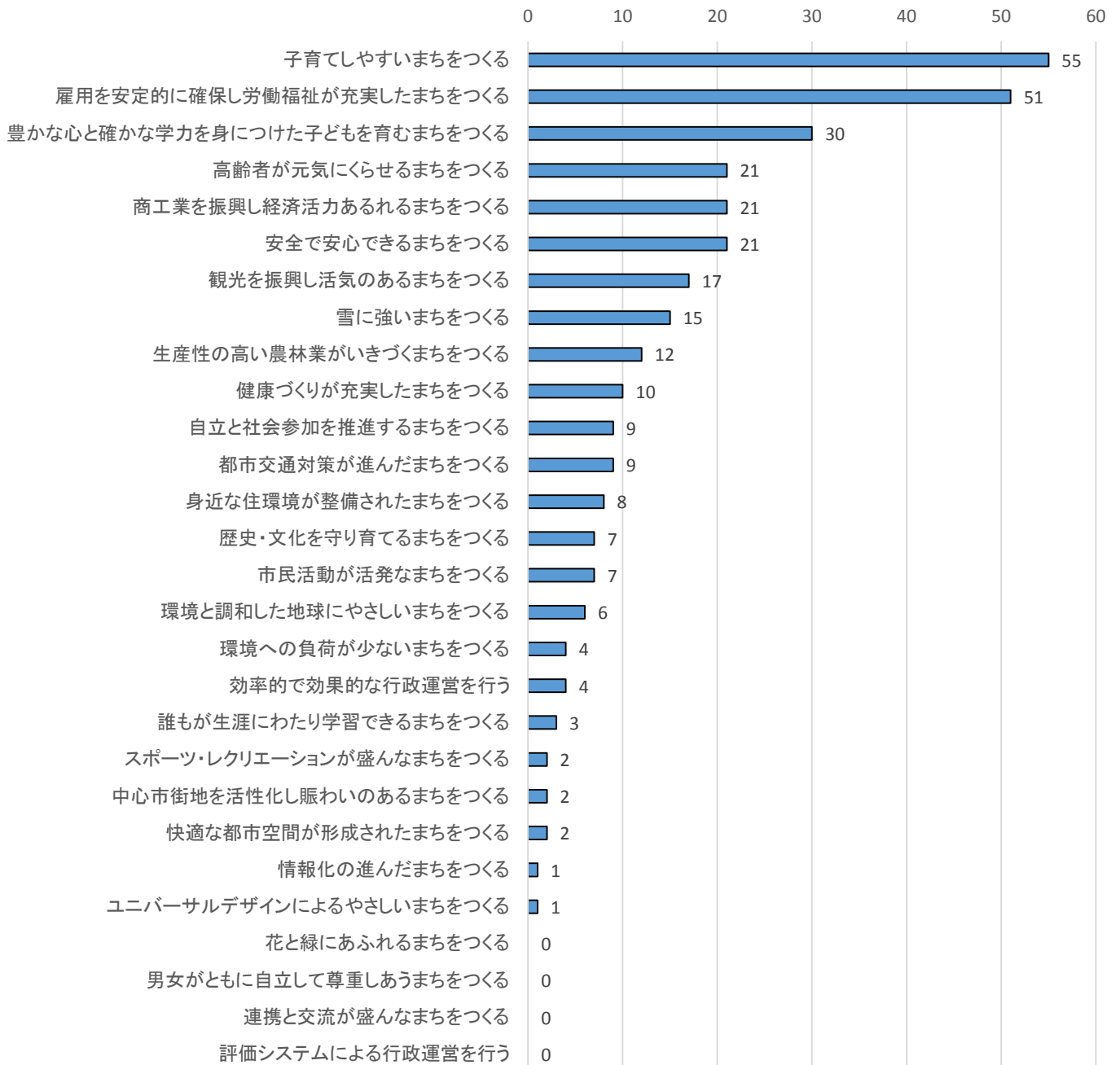
	優先すべき	優先しなく てよい	わからない
子育てしやすいまちをつくる	98%	2%	0%
高齢者が元気にくらせるまちをつくる	91%	9%	0%
自立と社会参加を推進するまちをつくる	88%	7%	5%
健康づくりが充実したまちをつくる	91%	7%	2%
誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる	74%	23%	2%
豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる	91%	9%	0%
スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる	65%	30%	5%
歴史・文化を守り育てるまちをつくる	86%	12%	2%
観光を振興し活気のあるまちをつくる	84%	12%	5%
商工業を振興し経済活力あるれるまちをつくる	93%	5%	2%
中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる	74%	23%	2%
雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる	98%	2%	0%
生産性の高い農林業がいきづくまちをつくる	81%	12%	7%
環境と調和した地球にやさしいまちをつくる	81%	19%	0%
環境への負荷が少ないまちをつくる	91%	9%	0%
安全で安心できるまちをつくる	93%	7%	0%
情報化の進んだまちをつくる	74%	21%	5%
花と緑にあふれるまちをつくる	42%	49%	9%
快適な都市空間が形成されたまちをつくる	70%	30%	0%
都市交通対策が進んだまちをつくる	81%	19%	0%
身近な住環境が整備されたまちをつくる	93%	7%	0%
雪に強いまちをつくる	100%	0%	0%
ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる	84%	16%	0%
男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる	70%	30%	0%
市民活動が活発なまちをつくる	79%	21%	0%
連携と交流が盛んなまちをつくる	35%	60%	5%
評価システムによる行政運営を行う	51%	40%	9%
効率的で効果的な行政運営を行う	74%	19%	7%

「問59 クロス集計の結果（60代構成比）」

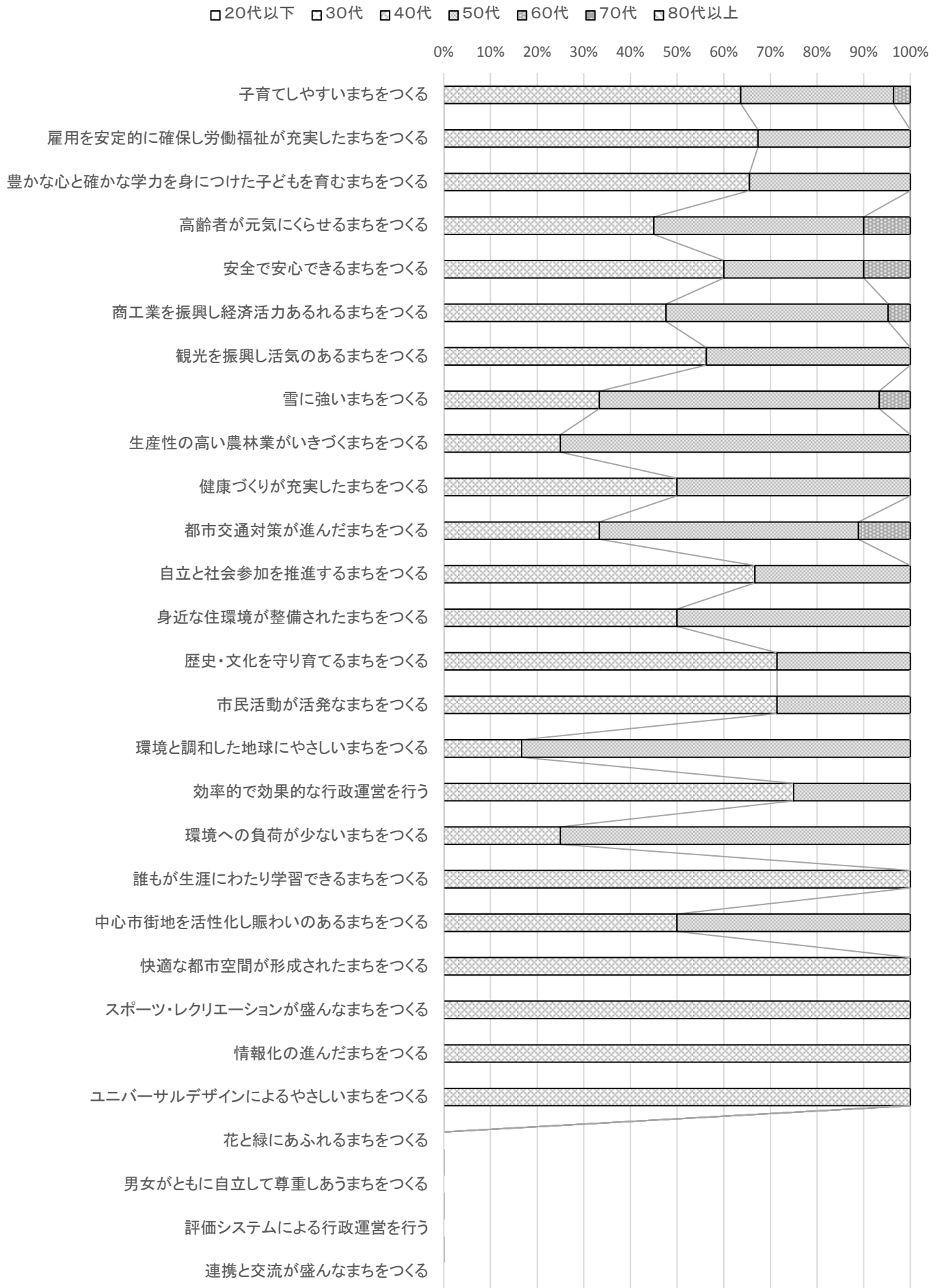
	優先すべき	優先しなく てよい	わからない
子育てしやすいまちをつくる	100%	0%	0%
高齢者が元気にくらせるまちをつくる	100%	0%	0%
自立と社会参加を推進するまちをつくる	100%	0%	0%
健康づくりが充実したまちをつくる	100%	0%	0%
誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる	100%	0%	0%
豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる	100%	0%	0%
スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる	100%	0%	0%
歴史・文化を守り育てるまちをつくる	67%	33%	0%
観光を振興し活気のあるまちをつくる	67%	33%	0%
商工業を振興し経済活力あるれるまちをつくる	67%	33%	0%
中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる	100%	0%	0%
雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる	100%	0%	0%
生産性の高い農林業がいきづくまちをつくる	100%	0%	0%
環境と調和した地球にやさしいまちをつくる	100%	0%	0%
環境への負荷が少ないまちをつくる	100%	0%	0%
安全で安心できるまちをつくる	100%	0%	0%
情報化の進んだまちをつくる	100%	0%	0%
花と緑にあふれるまちをつくる	67%	33%	0%
快適な都市空間が形成されたまちをつくる	67%	33%	0%
都市交通対策が進んだまちをつくる	100%	0%	0%
身近な住環境が整備されたまちをつくる	100%	0%	0%
雪に強いまちをつくる	100%	0%	0%
ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる	67%	33%	0%
男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる	67%	33%	0%
市民活動が活発なまちをつくる	67%	33%	0%
連携と交流が盛んなまちをつくる	33%	67%	0%
評価システムによる行政運営を行う	67%	33%	0%
効率的で効果的な行政運営を行う	67%	33%	0%

問60 今後のまちづくりの重点政策について伺います。問59の①から⑳までの政策のうち、市として重点的に取り組むべきと思う政策を選んで、その番号をご記入ください（〇は3つまで）

「子育てしやすいまちをつくる」、「雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる」、「豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる」の順という結果で、優先すべき政策と同じ結果となった。



「問60 クロス集計の結果（年齢別構成比グラフ）」



「問60 クロス集計の結果（年齢別内訳）」

	30代	40代	50代	60代
子育てしやすいまちをつくる	35	18	2	35
雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる	33	16	0	33
豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる	19	10	0	19
高齢者が元気にくらせるまちをつくる	9	9	2	9
安全で安心できるまちをつくる	12	6	2	12
商工業を振興し経済活力あるまちをつくる	10	10	1	10
観光を振興し活気のあるまちをつくる	9	7	0	9
雪に強いまちをつくる	5	9	1	5
生産性の高い農林業がいきづくまちをつくる	3	9	0	3
健康づくりが充実したまちをつくる	5	5	0	5
都市交通対策が進んだまちをつくる	3	5	1	3
自立と社会参加を推進するまちをつくる	6	3	0	6
身近な住環境が整備されたまちをつくる	4	4	0	4
歴史・文化を守り育てるまちをつくる	5	2	0	5
市民活動が活発なまちをつくる	5	2	0	5
環境と調和した地球にやさしいまちをつくる	1	5	0	1
効率的で効果的な行政運営を行う	3	1	0	3
環境への負荷が少ないまちをつくる	1	3	0	1
誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる	2	0	0	2
中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる	1	1	0	1
快適な都市空間が形成されたまちをつくる	1	0	0	1
スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる	2	0	0	2
情報化が進んだまちをつくる	1	0	0	1
ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる	1	0	0	1
花と緑にあふれるまちをつくる	0	0	0	0
男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる	0	0	0	0
評価システムによる行政運営を行う	0	0	0	0
連携と交流が盛んなまちをつくる	0	0	0	0

IV : 記述回答一覽